

第八十一回
帝國議會
貴族院

國民貯蓄組合法中改正法律案特別委員會會議事速記録第三號

昭和十八年二月二日(火曜日)午前十時
六分開會

○委員長(伯爵橋本實斐君)

ソレデハ國民貯蓄組合法中改正法律案ノ委員會ヲ開催致シマス、昨日ハ國民貯蓄ニ付キマシテノ一般ノ質疑ガ一應出盡シタヤウデアリマスカラ、引續イテ國民貯蓄組合法中改正法律案、是ノ細カイ審議ニ入リタイト思ヒマス、質疑ヲ何卒御續行願ヒタイト思ヒマス、ソレデハ國民貯蓄組合法中改正法律案、此ノ分ハ別ニ御質疑ハゴザイマセヌカ、ゴザイマセヌヤウナラバ次ノ納稅施設法案ニ付テ御質疑願ヒタイト存ジマス、是ハ先ヅ審議ノ便宜ノ爲第一章ニ付キマシテ御質疑ヲ願ヒマス

○河田烈君

チヨット第一章ト云フ譯デモナイノデスガ、納稅施設ニ付テ一ツ伺ヒタイノデスガ……

○委員長(伯爵橋本實斐君)

全般的ノ御質疑ガゴザイマシタラドウゾ……

○河田烈君

全般的ト云フ程デアリマセヌガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵橋本實斐君)

宜シウゴザイマス

○河田烈君

是ハ納稅ノ爲ニ色々便宜ヲ圖ラレルノハ贊成デ、段々稅額ガ高クナルノデ、出來ルダケ便宜ヲ圖ルト云フコトニ力ヲ用ヒラレルコトハ非常ニ雙手ヲ舉ゲテ贊成スルノデスガ、納稅ノ方法ニ銀行小切手ヲ利用スル方法ガモウ少シナイデセウカ、私ハ知ラナイノカモ知レマセヌガ、此ノ頃

銀行ノ支店デ以テ納稅ヲ取扱ッテ居リマスカ、其ノ稅ノ種類ガ非常ニ限定サレテ居ルノデスガ、多分銀行デ取ッテ呉レ、バ小切手デ行ケルト思フ、郵便局デハ昔ノ二等局以上、大キイ郵便局デ手ノアル所デハ小切手ヲ受取ッテ、取リニ行ッテ呉レル便宜ヲ圖ルコトガアルガ、先ヅ普通ノ三等局デハ小切手ハ取ッテ呉レナイ、是ハ一々銀行ニ取リニ行クコトハ大變デスカラ取ッテ呉レナイノデスガ、納稅ヲ郵便局デハ振替貯金ヲ利用シテ居ルト思ヒマスガ、振替貯金ガ交換ノ「メムバー」、會員ニナッタラ何カ小切手デ以テ取ッテ呉レル途ガナイデモナイノデヤナイカ、サウシテ一々現金ヲ引出シテ拂ハナクテモ濟ムノデ、サウ云フ方法ハナイカト思フ、私モ前カラサウ云フ考ヲ持ッテ居ッタノデスガ、今迄逡巡當局デハ好マレナイヤウデアリマスガ、何カサウ云フヤウナモノガ出來ナイモノデゴザイマセウカ、ソレカラ小切手ヲ利用スルコトニナルト……一體マア小切手ノ利用ハ少イノデ、小切手ノ契約ヲシテ、一々小切手ヲ以テ支拂ヲスルト云フ人ハ多分國民ノ中ニハ幾ラモ「パーセンテージ」ハナイダラウト思ヒマス、是ハ納稅ニ直接關係ガナイノデスガ、小切手ノ利用ヲ十分ニスルコトニナルト、自然ト通貨ノ死藏モ減ッテ來マスシ、ソレカラ兌換券ノ發行ノ高ニ影響スル、大シタコトハナイカモ知レスガ、多少ハ影響シテ來ルダラウト思ヘ

ル、納稅ハ段々稅額ガ多クナッテ來マシテ個人ノ納メル額ガ相當高クナッテ居リマスカラ、一般ノ小切手ノ利用ト云フコトハ、是ハ稅ニ直接關係ナイノデアリマスガ、獎勵サルベキモノデハナイデセウカ、納稅ノ方法トシテ小切手ヲ利用スルコトヲ何カ工夫サレタナラバ、一石二鳥ト云フカ、三鳥ノ利益ガアリハシナイカト思フノデスガ、ドンナ風ニナッテ居リマスカ

○政府委員(松隈秀雄君)

御答ヲ申上ゲマス、只今ノ御質問ハ國稅ノ納付ニ當リマシテ、モウ少シ小切手ヲ利用スル制度ヲ認メルヤウニシタナラバ納稅上非常ニ便宜デハナイカト云フ、斯ウ云フ御趣旨デゴザイマスガ、御承知ノ通り國稅ノ納付ニ當リマシテ小切手ヲ以テ納メ得ルコトニ現在ナッテ居リマス、其ノ場合ニ於キマシテ支拂保證ノアル小切手ヲ受入レルコトガ原則トナッテ居ルノデアリマスルガ、其ノ限度ガ從來百圓以上ハ支拂保證ガ要ルト云フコトデアリマシタガ、ソレデハ不便デアリマスルノデ、其ノ支拂保證ノ要ライニ限度ヲ元ノ百圓カラ一萬圓ニ迄擴張致シマシタ、一萬圓迄ハ支拂保證ガ無イ小切手デアッテモ、租稅ヲソレニ依ッテ納付シ得ルト云フコトニ致シマシタノデ、餘程便宜ニナッテ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙昭和十六年八月以降大都市ノ市域ニ於キマシテ、日本銀行國稅代理店ト云フモノヲ設置致シマシテ、其處ニ於キマシテ納稅額ト、納稅者ノ國稅代理店銀行ノ預金トノ振替決濟ガ出來ルヤウナ制度ヲ設ケマシタノデ、ソレ等ノ大都市ニ於キマシテハ、國稅代理

店ヲ通ジマシテ預金トノ振替ノ方法ニ依ッテ納稅ガ出來ルコトニナリマシタノデアリマス、是モ大分便宜ヲ齎シタコトト思フノデアリマス、唯其ノ場合ニ於キマシテハ只今モ御話ノアリマシタヤウニ、國ガ直接徵收致シマスル國稅ノミヲ納メサセテ居リマシテ、市町村ヲシテ徵收セシメマスル租稅ニハ及ンデ居ラナイノデアリマス、ソコデ市町村ヲシテ徵收セシメマスル租稅モ尙銀行ヲ通ジテ納メ得ルヤウニシマスル爲ニハ市町村銀行ヲシテ市町村ノ公金ノ收納ヲ取扱ハシメルト云フ契約ヲ結ベセマスルト云フト、其ノ扱ガ出來ルヤウニナリマス、是ハ段々ニ其ノ方向ニ話ヲ進メツ、アリマシテ、既ニ銀行ト市トノ間ニ、市ノ公金ヲ收納取扱事務ヲ取扱フト云フ契約ノ成立ヲ見タ市モゴザイマス、此ノ方面ハマダ國稅代理店程普及致シテ居リマセヌガ、漸次其ノ方向ニ進メテ參リタイト存ジマスルノデ、サウ致シマスレバ、國稅ヲ納メル上ニ付テ、銀行預金ヲ以テ納メ得ルト云フコトニ付テノ便宜ガ大分殖エテ參ルト存ズル次第デアリマス、更ニ今回提案致シテ居リマスル納稅準備預金ヲ致シマスレバ、銀行ハ令書ヲ預ッテ、納稅者ニ代ッテ稅ヲ納付スルト云フ事務迄取扱ッテ呉レルコトニナッテ居リマスルノデ、此ノ納稅準備預金ノ利用ニ依ッテ、只今御心配ノヤウナ點ハ餘程便宜ヲ得ラレルヤウニ、制度ガ擴張サレテ參ルコトト存ズル次第デアリマス

○河田烈君 郵便局ノ方ハドウデセウカ、

今現在原則トシテハ多分受取ラナイト思ヒ
マスケレドモ、何カ三等郵便局デ小切手デ
以テ受取ラレルヤウナ方法ハ餘程面倒デセ
ウカ

○政府委員(松隈秀雄君) 郵便局ニ於キマ
スル窓口事務ハ、最近非常ニ煩雜ヲ極メテ居
リマスルノデ、現在ノ狀況ヲ以テ致シマス
ト、郵便局ニ新シイ事務ヲ命ジ、又ハ郵便
局ノ事務ヲ擴張スルト云フコトハナカ

○河田烈君 何時モ通信當局ハ郵便局ノ窓
口事務増加ト云フコトヲ口實ニスルノデス
ガ、唯現金ヲ受取り、「チエック」ヲ受取ツデ
之ヲ交換ニ廻スト云フ振替貯金ノ全體トシ
テ、其ノ區域ヲ變ヘル必要ハアルカモ知レ
ヌガ、交換ノ會員ニシテ置ケバ、窓口事務
ハソソナニ殖エルモノデヤナカラウト思ヘ
ル、實際ハ分リマセヌガ、サウ云フコトヲ
御研究願ヒタイコトヲ希望致シテ置キマス、
ソレカラチヨット此ノ法案ニ直接關係ガナ
イ所デモ宜シケレバ……

○委員長(伯耆橋本實雄君) 宜シウゴザイ
マス

○河田烈君 納税ノ便宜ノ一ツノ方法トシ
テ、數年前相續税ノ物の納入ノ方法ヲ認メ
ラレタノデスガ、如何デセウカ、利用ハサ
レテ居リマセウカ、餘リ利用サレテ居リマ
セヌデセウカ

○政府委員(松隈秀雄君) 相續税物納ノ制
度ハ昭和十六年ニ創設サレタノデアリマス
ガ、只今迄承知致シテ居ル所デハ、物納ノ受
入ヲ致シタコトハゴザイマセヌ、是ハ察シ
マスルニ大體最近ニ於キマスル傾向ハ、

不動産價格が大勢トシテ上向キノ狀況ニア
リマスルカラ、斯ウ云フ時期ニ於テハ強ヒ
テ物納ヲ申出デナイデモ、納税上困難ヲ感
ジナイノデアラウト思ヒマスガ、萬一狀況
ガ變リマシテ、不動産價格ガ下落ノ傾向ニ
デモ出ルト云フコトニナリマスレバ、アノ
制度ヲ利用スル者モ或程度殖エテ參ルダラ
ウト思ッテ居リマス

○河田烈君 御邪魔ヲ致シマシタガ、尙第
四章ニ付テチヨット伺ッテ見タイト思ヒマス
ガ、是ハ逐條ニ入リマスカラ……

○三井清一郎君 逐條ニ入ラナイ前ニ今河
田委員ノ質問ニ關聯シテ、相續税ガ今日ノ
時局ニ關係シテ、例ヘバ戦死ト云フコトニ
ナレバ確カ相續税ハ免除ニナルト思ッテ居
ル、違ッテ居ルカモ知レマセヌガ……、其ノ
他ノ戰地ニ於テ公傷病死シタ者、或ハ戰
死トスルカドウカ、其處ニ若干ノ疑ヒアル
者等ハ悉ク戦死ノ名義デナケレバ免稅セナ
イト云フヤウニモ聞イテ居リマスガ、ソレ
ハ大藏省ノ其ノ解釋ヲ一ツハッキリ承リタ
イト思ヒマス

○政府委員(松隈秀雄君) 現在ノ相續税法
ニ於キマシテハ戦死ノ場合ト、ソレカラ戰
傷若シクハ戰病ニ因リマシテ一年以内ニ死
亡シタ場合ニ限ッテ相續税ヲ課セナイト云
フ規定ガアルノデゴザイマス、其ノ他ノ之
ニ該當シナイ場合ニ於テハ、法文上相續税
ヲ免除……課税シナイト云フ扱ハ出來ナイ
コトニナッテ居リマス

○三井清一郎君 ヨクハッキリシマセヌガ、
其ノ戰病死若シクハ戰地ニ於テ公務ニ服務
シテ死シタ者ハ、矢張り戦死ト看做シテ免
稅ヲスルト云フコトニ考ヘテ宜イノデスナ
○政府委員(松隈秀雄君) 戦死ノ場合ハ

ハッキリシテ居ルト思フノデアリマスルガ、
戰爭ノ爲ニ受ケタ傷病ニ起因シタル死亡ニ
因ッテ相續ガ開始シタ場合ニ於テハ、負傷又
ハ發病後一年ヲ經過シタ場合ニハ非課税ト
シナイ、斯ウ書イテゴザイマス、此ノ場合
ニ於テハ、問題ハ何時負傷シタカ、殊ニ病
氣等デアルト云フト發病ノ時期如何ニ依リ
マシテ、果シテ一年以内デアアルカドウカト
云フコトニ付テ時々認定上ノ問題ヲ起シテ
居リマスルガ、ソレニ付キマシテハ法律制
定ノ趣旨ニ考ヘマシテ、出來ルダケ寛大ナ
扱ヲ致シテ居リマス

○三井清一郎君 私ハ承タノハ、例ヘバ戰
地ニ於テ戰闘ヲ交ヘナイ中ニ飛行機カラ落
チテ死シタ、或ハ戰闘後歸還ノ途中ニ於テ
飛行機ノ故障デ亡クナッタト云フ者ハ、公務
ニ起因シタ死亡、陣歿ニハナッテ居リマスル
カラ、戦死ト看做サナイト云フヤウナ爲ニ
相續税問題ガ引ツカ、ルヤウナ話ヲ聞イテ
居リマスガ、ドウモソコハ常識カラ考ヘテ、
戰地デ偵察若シクハ戰闘シタ歸還ノ途中ニ
飛行機ノ故障デ死シタ、ソレカラ戰地デ
病氣シテ、ソレガ戰地ニ居ッタ爲ニ其ノ病氣
ガ發シテ一年以内云々ト云フコトト比較ス
レバ、當然サウ云フ飛行機ニ依ッテ活動シタ
結果死シタ人ハ戰死ニ近イ方デヤナイカト
思ハレマスガ、是ハ相續税カラノ關係カラ
大藏省ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(松隈秀雄君) 戦死ノ場合ニ於
キマシテハ、現在ノ扱ハ相續税ニ於テ戰死
ト認メマスル場合ト軍ニ於テ戰死ト認メマ
スル場合ト、國家ノ認定ガ食ヒ違フコトモ
如何カト存ジマシテ、軍ノ發表ニ依ッテ戰死ト
認メラレタ場合ニ於テ、相續税法モ戰死ニ
該當スルモノトシテ取扱ッテ居ルノデゴザ

イマス、飛行機事故ニ因リマスル死亡ノ場
合ニ於キマシテモ、果シテソレヲ戰死ト認
ムベキデアルカ、或ハ戰死以外ノ事故ニ因
ル死亡ト認ムベキデアアルカト云フコトハ、
徵稅官廳ト致シマシテハ認定ガシナイノ
デアリマス、ソゴデ已ムヲ得ズ現在ノ所デ
ハ軍ノ御取扱ガ戰死デアルカ、或ハ戰死以
外トシテ居ラレルカト云フコトニ依ッテ、税
法ハ相續税法ノ第七條ヲ適用シテ居ルノデ
アリマスガ、是ハドウモ現在ノ所徵稅官廳
トシテハ已ムヲ得ナイカト思フノデアリマ
ス、將來立法ト致シマシテ、戰地ニ於ケル
死亡ト云フ風ニ廣ク此ノ條文ヲ修正致シマ
スレバ、ソレハ問題ガナイノデアリマス
ガ、現在ノ所デアリマスレバ其ノ認定ハ、
大體軍ト同一歩調ニ出ルノガ適當デアラウ
カト、斯様ニ存ジテ居リマス

○三井清一郎君 税ノ方デ一般的ナコトデ
スガ、私ハ相續税額ヲ御出シテ願ッテ、ソレ
ヲ見マスルト認定額ノ六分五厘、七分近
ク、相續額ガ五億二千七百萬圓ノ相續額ガ
ルノヲ見テ驚イタノデス、御承知ノ如ク納
税ハ國民ノ義務デアアル、是ハ兵役ニ次イテ
納税ノ義務ハ果サナケレバ國家ノ生存ニ非
常ナ影響ヲ及ス、非常ニ納税ト云フコトニ
重キヲ置イテ居ル一人デアリマスガ、此ノ
大キナ相續額ガ出來ルト云フコトハ、稅務監
督ガドノ程度ニ行キ互ルノデアリマスガ、
チヨット疑ヒナキヲ得ナイノデアリマスガ、
事實ヲ一ツ御話ヲ承リタイノデアリマス

○政府委員(松隈秀雄君) 三井委員ノ御要
求ニ依リマシテ國稅相續額額調ト云フモノヲ
作ッテ差上ゲテアルノデアリマスガ、ソレニ
依リマスルト認定額ニ對シマシテ相續税
額ノ割合ガ、十六年度ニ於テ六分五厘、十

額ノ割合ガ、十六年度ニ於テ六分五厘、十

額ノ割合ガ、十六年度ニ於テ六分五厘、十

七年度ノ四月カラ十一月迄ニ於キマシテ同
ジク六分五厘程度出テ居リマス、之ヲ昭和
十一年度又ハ十五年度ニ較ベマスルト云フ
ト、或程度増加致シテ居ルノデゴザイマ
ス、此ノ數字ハ年度末現在ニ於キマスル其
ノ年ノ測定済額ニ對スル滯納額ヲ御示シシ
タノデアリマシテ、其ノ後ノ滯納整理ニ依
リマシテ現狀ハ是ヨリモ減ッテ居ル譯デア
リマスルガ、兎ニ角或程度國稅ノ滯納額ガ
絕對金額ニ於テハ勿論、歩合ニ於テモ殖エ
ツ、アリマスルコトハ誠ニ遺憾トスル所デア
リマスルガ、是ハ御承知ノ通り最近數次ノ
増稅ニ依リマシテ、國民ノ負擔ガ相當過重サ
レ、又免稅點ノ引下等ニ依リマシテ新シク納
稅者ニ入ッテ參ル階層ガ出來マシテ、而シテ
是等ノ人々ハ從來租稅ニハ比較的親シミノ
薄カタ人々デアリマシテ、今度新シク租
稅ヲ納メルヤウニナツタノデアリマスルカ
ラ、從來カラ租稅ヲ納メテ居ル人々ニ較ベ
マスレバ、心構ヘヤ納稅ノ手續ニ付テモ幾
分行届カナイ點モアツカト思フノデアリ
マス、ソレカラ最近經濟界ノ各種ノ變動、
殊ニ統制強化ニ伴ヒマスル企業ノ合同、再
編成ト云ツヤウナ點カラ、轉廢業者モ生ズ
ルト云ツヤウナ實情ニゴザイマス、ソレカ
ラ一般ノ狀況ト致シマシテモ、矢張り物資
關係ガ窮屈ニナツタリ致シマスルノデ、營
業ノ狀況ヲ見マスルト云フト前年度ヨリモ
營業ノ成績ノ良クナツテ居ルモノモゴザイ
マスレドモ、中ニハ營業ノ狀態ガ段々惡
クナツテ來ル、斯ウ云フモノモアルノデアリ
マスガ、現在ノ稅法デハ前年ノ實績課稅
ヲスルト云フ建前ニナツテ居リマスノデ、
前年ノ營業ノ狀況ガ宜シクテ今年ノ狀況ガ
惡イト云フヤウな場合ニ於キマシテハ、前

年ノ良イ實績デ今年課稅サレマスルカラ、
心懸ケガ良ク、前年ノ營業ノ狀況ノ良カッタ
時分ニ納稅ノ準備ヲ致シテ置キマスレバ、
別デアリマスルケレドモ、サウデナイト云
フト、矢張り納稅ノ時期ニ當ッテ納メニク
イト云フヤウな結果ヲ生ジテ參ルノデアリ
マス、其ノ外色々ノ關係モアリマシテ、最
近ニ於ケル納稅成績ハ少シク低下ノ氣味ニ
アリマスルノデ、此ノ儘放置致シマスルコ
トハ如何カト存ジマシテ、今回納稅施設法
ヲ提案致シマシテ、國民ノ納稅義務ノ履行
ヲ容易確實ナラシメル各種ノ方策ヲ講ズル
ヤウニ致シタイト思ッテ居リマス

○三井清一郎君 斯ウ云フ情勢デアツテ、
今回納稅施設法案ヲ御出シニナツタト云フ
ノハ、非常ニ結構ナコトト思フノデアリマ
ス、此ノ施設法案ニ付テハ、私ハ此ノ舉ヲ
以テ非常ニ宜イ方法ヲ御執リニナルト云フ
コトヲ考ヘル者デアリマスガ、此ノ滯納者
ノ表ニ依ッテ人員ガ三百二十七名デ、二億
三千七百萬圓ノ滯納ト見マスレバ、主稅局
長ノ御説明ノ後段ノ經濟界ノ方主デヤナ
イカ、個人デ千圓以上ト云フトマア中
位ノ所デスガ、千圓ト平均シテモ三十萬圓
位ナモノダト思ヒマスガ、若シ小サイ納稅者
デアツタナラバ、三百二十七名デコンナニ
二億三千萬圓ニモナル譯ガナイ、是ハ專ラ
私ハ財界方面ノ滯納ト思フ、是ハ一ツ經理
統制令ヲ出シ、此ノ財界ノ……軍需工業ナ
ラバ管理工場、監督工場ナラバ陸海軍ガ
監督シテ居リマセウシ、其ノ他ハ相當ノ
官廳昨日モ申シマシタ通り、實行行政ヲ
オヤリニナツテ直接工場へ行ツテ御調ニ
ナツテ監督ナサレテ居ル、ソレノ納稅ヲ怠
ト云フコトハ、私ハ甚ダ不愉快ニ感ズル、

専ラ是ハ私ハ財界ノ滯納ガ主ナモノト考ヘ
ルガ、サウデスカ
○政府委員(松隈秀雄君) 滯納者ノ中ニハ
相當多額ノ稅ヲ納メテ居ル者デ滯納ノ已ム
ナキニ至ツタ者モゴザイマスシ、又比較的
稅額ノ少イ者デ滯納ニナツテ居ル者モアリ
マシテ、必ズシモ大キナ者ノミノ滯納ト申
ス譯ニハ參ラナイヤウデゴザイマス、ソレ
カラ大キナ稅額ノ者ハ比較的資力ガアルノ
デアルカラシテ、滯納ニハナラナイト御思
ヒニナルカト思フノデアリマスガ、相當財
界ノ變動ガゴザイマシテ、殊ニ統制ノ強化
等ニ因リマシテ營業狀態ガ著シク變ッテ來
ル、斯ウ云フヤウな場合モアリマスルノデ、
結局ハ納メラレテモ法定納期ニハ一應滯納
ニナル、斯ウ云フヤウなモノモ出テ參リマ
スルノデ、サウ云フモノモ此處ニ滯納額ト
シテ載ッテ居ル譯デアリマス、デ、只今御示
シノ數字ハ三百七十二人トゴザイマスガ、
是ハ三十二萬七千人ト云フコトデゴザイマ
シテ、其ノ滯納額ガ二億三千七百萬圓デゴ
ザイマスカラ、一人當リ平均スレバ七百圓
程度ト云フコトニナツテ居リマス

○三井清一郎君 此ノ滯納ガ或ハ稅務監督
廳ノ算定ト納付者ノ算定トノ喰ヒ違ヒガ
アツテ、其ノ間ニ意見ノ一致シナイ點ガア
ル爲ニ滯納ニナツテ居ルモノモアラウト思
フ、サウ云フモノハドレ位ノ「パーセンテ
ー」ニナツテ居リマスカ、今デナクテモ後
デ宜シウゴザイマス

○政府委員(松隈秀雄君) 後程資料デ……
○河田烈君 大變御邪魔ヲシマスガ、私ハ此
ノ委員會デハ少シドウカト思ッテ、何處カ他
ノ機會ニ政府當局ニ伺ツタラ宜イカト思ッ
テ居タノデアリマスガ、今三井委員カラ戰死

者ノ相續稅ニ付テ御質問ガアリマシタノデ、
ソレニ關聯ガアリマスカラチヨット伺ヒタ
イト思ヒマス、今政府委員ノ御答ヘ通り、
私ノ存ジ寄リニ致シマシテモ戰死ナリ
ヤ否ヤト云フコトノ認定ハ、其ノ當局、
詰リ徵稅官廳ノ仕事デハナクシテ、政府
ニハ達ヒナイガ、又別個ノ、軍當局ノ認
定ニ依ルノガ當然ガラウ、是ハ御説明ノ
通りダト思ヒマスガ、相續稅ヲ課スルガ
爲ニ、一々戰死ナリヤ否ヤ判定スル譯ニハ
行カナイ、ソレハ正ニ其ノ通りデアルト思
ヒマス、從ヒマシテ戰死ナリヤ否ヤト云フ
原因ノ判定ト云フモノハ、軍當局ノ判定ニ
依ルト致シマシテ、是ガ相續稅法ニ關スル
限リノ解釋、何ト云ヒマセウカ、徵稅官廳
ト軍當局ノ認定ハ即チ一致スル、是ハ結構
デアリマスガ、此ノ場合大藏當局ニ伺フノ
ハ少シ變デスガ、戰死ナリヤ否ヤト云フコ
トノ判定ニ付テハ、軍當局ニ於テ戰死ト云
フ意味ニハ種々ノ區分ガアルノデアリマセ
ウ、ソコニ私ハ一點疑ヲ持ツノデアリマス、
戰死ト判定スルカ否カニ依ッテ相續稅ヲ課
ス課サナイト云フ結果ヲ生ズルノハ、成ル
程相續稅ヲ課セラレヤウナ資産ノ者ニ付
テハ相當ノ影響ガアラウト思ヒマスガ、是
ハ或意味カラ言ッテ物的ノ影響デアツテ、多
クノ人ハソナニ多額ノ相續稅ヲ課セラレ
ナイ人ガ多イト思ヒマスカラ大シタ影響ハ
ナシ、又課セラレタニシテモ物的ノ影響デ
アツテ、最モ重ンズベキ所ノ國家ノ行實、表
彰サレル所ノ名譽ノ問題トハ自ラ違フ、然
ルニ例ヘバ飛行機事故デ以テ途中デ變死ヲ
シタ場合、戰死ニナルカナラスカト云フコ
トニ疑問ガ起ッテ來ルノト同ジク、多年ノ勞
苦ノ後ニ歸還ノ途中ニ於テ或事故ニ因ッテ

第四部第二類 國民貯蓄組合法中改正法律案特別委員會議事速記第三號 昭和十八年二月二日 貴族院

三

三

三

三

死シ、第一線ニ於テ鐵砲ノ彈丸デ死シ、
ノハ明瞭ニ戰死ニナルガ、多年ノ勞苦ヲシ
タ上、歸還ノ途中ニ於テ墜落ヲシテ亡クナ
タト云フコトニナル、是ガ戰死デナイト云
フコトニナルト、大變士氣ニ影響スルモノ
デアリ、豈單リ相續稅ノ問題ノミデナク、其
ノ影響非常ニ大ト思フノデアリマス、其ノ
點、相續稅法ノ適用ニ於テハ戰死ト認メナ
イケレドモ、死亡ノ賜金トカ行實トカ、具
體的ニ言ヘバ、金醵勳章ヲ賜ルトカ、靖國神
社ニ祀ラレルトカト云フ場合ニ於テハ、是ハ
矢張り戰死トスルカ或ハ戰死ニ準ジテ、サ
ウ云フ名譽ヲ與ヘラレノガ……相續稅法
ノ適用ニ於テハ戰死ニ付テハ國ノ意思ハ一
致スル、二ツハナイガ、軍當局ニ於テ判定ス
ル戰死ト云フ中ニ種類ガアルノダ、斯ウナ
テ來ルト物的ノ方ハ兎モ角士氣ニ影響スル、
是ハ大藏當局ニ伺ツテモ無理ダト思ヒマス
ガ、尙若シ御承知ニナツテ居ル點ガアルナ
ラバ伺ツテ見タイト思ヒマス

○政府委員(谷口恒二君) 聊カ聴キ誤リマ
シテ……

○河田烈君 ソレハ大藏當局ガ御存ジノナ
イコトハ失禮ナガラ御尤モデ、無理ナ質問
ト思ヒマス、ケレドモ經驗ニ依リマシテサ
ウ云フ場合ニ於テ大藏當局ハ色々御聞及ビ
其ノ他ニ依ツテ多少存ジ寄リノ所ガアレバ、
差支ガナケレバ伺ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 若シ御希望ナ
ラバ軍當局ヲ煩ハシテモ宜シウゴザイマス
○三井清一郎君 是ハ此ノ稅法ノ委員會ニ
於テモ矢張り非常ナ問題ダト思ヒマス、是
ハ賜金ニモ關係ガアリマスシ、幸不幸ガア
ル、此ノ解釋ヲ勝手ナ解釋ヲシテ行ツタ
ラバ、非常ナ幸不幸ガ生ズル

○河田烈君 チョット速記ヲ止メテ戴キタ
イ
○委員長(伯爵橋本實斐君) チョット速記
ヲ止メテ……
〔速記中止〕

○委員長(伯爵橋本實斐君) ソレデハ速記
ヲ始メテ……他ニ御質疑ゴザイマセスデセ
ウカ、一般の……、ソレデハ細カイ審議
ニ入ル筈デアリマスガ、今主稅局長ハ稅法
ノ改正委員會ニ參ラレマシタ、ケレドモヤ
ッテ居ツテ戴イテモ宜シイト云フ御話デアリ
マス、ソレデハ先程ノ御話ニ依リマシテ第
一章ヲ先ヅ議題ニ供シマス、別ニ御質疑ナ
イヤウナラバ第二章、宜シウゴザイマスガ、
ソレデハ第三章

○河田烈君 違ッテ宜イトハ思ヘナイ、一致
スベキデ、ソレハ今主稅局長ガ御答ニナツタ
ヤウニ軍ノ判定ニ依ルト云フコトハ結構デ
アリマスケレドモ、寧ロ大藏當局トシテハ
軍ノ判定ニ種類ガアルヤウニ其ノ結果思ヘ
ルヤウナ氣ガスル、ソレハ一致スベキダト

第十條ニアリマスル指定金融機關ノ種類ハ
頂戴致シマシタ資料ニ依リマシテ、銀行ト
市街地信用組合ニナツテ居ルヤウデゴザイ
マスガ、是ハ無論銀行ニハ普通銀行、特殊
銀行、貯蓄銀行モ入ッテ居ルト思ヒマスガ、
支店ガアリマス所ハ當然支店ノ方デモ取扱
ハレル御趣旨デアリマスガ

○政府委員(子爵戸田忠肅君) 御答ヘ申上
ガマス、命令ヲ以テ定ムル金融機關ニハ、
只今御手許ニ差上ゲテアリマス命令案要綱
ノ中ニアリマスヤウニ、銀行及市街地信用
組合ト相成ツテ居リマス、銀行ハ特殊銀行、
普通銀行、貯蓄銀行總テ含シテ居ルノデ
アリマシテ、本店ノミナラズ支店、出張所
等モ豫定シテ居ル次第デゴザイマス、尙農
村方面ニ於キマシテ銀行其ノ他市街地信用
組合等ノ數ノ少イ場合ニ於キマシテハ、場
合ニ依リマシテハ農業會等ヲシテ取扱ハシ
メルコトヲモ腹案トシテ考ヘテ居ル次第デ
ゴザイマス

○滋澤金藏君 十三條ニ納稅ノ手續ガ規定
シテアリマス、是ハ要綱ノ方ニモ書イテア
リマスガ、何レ施行令カ施行規則ニ依ツテ
詳シイコトヲ御規定ニナルノデゴザイマセ
ウガ、此ノ納稅準備預金ヲ引出シテ稅公
課ノ納付ニ充テル譯デアリマスガ、是ハ無
論現金ヲ引出ス譯デアリマスガ、其ノ
後段ノ方ニ「稅公課ノ納付ヲ委託スベシ」
ト云フ文句ガゴザイマシテ、ドウ云フ風ニ
ナルノカチョット分リ兼ねマスノデスガ、其
ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(子爵戸田忠肅君) 十三條ニ規
定シテ居リマスコトハ、納稅準備預金ヲ以
テ稅公課ヲ納付スル場合ニ於キマシテハ、

其ノ預金者ガ現金ヲ引出シマシテ之ヲ市町
村ヘ拂込ム手續ヲ致シマセヌデ、納付ノ手
續ヲ總テ指定金融機關ニ委託セシメルト云
フ規定デゴザイマス、從ヒマシテ納稅告知
書等ヲ持參致シマシテ銀行ノ窓口ニ參リマ
シタ預金者ニ付キマシテハ、其ノ當該預金
ヲ現金デ拂出シマセヌデ、其ノ預金口座ヨ
リ必要ナル公租公課ノ金額ヲ落シマシテ、
銀行ガ納稅者ニ代リマシテ市町村等ニ納付
ノ手續ヲ代行スルト云フ意味デゴザイマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 他ニ御質疑ゴ
ザイマセヌカ、又オアリニナレバ後程デモ
宜シウゴザイマスカラ、第四章ニ進ミマス
○河田烈君 二十條ノ命令ガ大體分ラヌ譯
デスガ、此ノ間調查部會デ以テ氏家局長ノ
御説明ニ依ルト斯ウ云フ風ニ承ツタノデ
ス、具體的ニ申スト、金ヲ申シタ方ガ却テ
ハツキリスルト思フノデスガ、或期ニ百圓ノ
稅額ヲ納付スル時ニ、假ニ二百圓ヲ貯蓄シ
テ三百圓ヲ納メル、百圓ハ稅額ニナル、ア
ト二百圓ハ納稅貯蓄ニナル、其ノ二百圓
ヲ二十年以内ニ拂戻スコトニナル、ソレニ
付テハ國債ニ準ジテ三分五厘位ナ利子ヲ附
ケルコトニナツテ居ル見込ダト云フ御話ダ
タト思フノデスガ、サウナルト百圓ノ利
子、百圓ノ稅ヲ納メル時ニ懷ニ餘裕ガアツ
カラト云ツテ三百圓納メル、今度ハ二十年以
内ダカラ二十年カ十二年デスカニ二百圓ダ
ケハ凡ソ三分五厘ノ利子ガ附イテ拂戻サ
レルコトニナルト、三百圓ノ現金ヲ持ツテ居
ル者ハ百圓ハ納稅ニシ、二百圓ハ三分五厘
ノ國債ヲ買フト云フノト同ジ結果ニナル、
サウスルト何モ「アトラクシヨ」ガナイ上
ニ、公債ナラバ右カラ左ニ賣買レナイコト
モナイケレドモ、ナカ／＼サウモ賣買レナイ

カモ知レナイガ、尤モ價格ノ値下リガアル
カモ知レナイガ、融通出來ナイコトモナ
イ、此ノ貯蓄ニナツテ來ル拘束サレテ、償
還サレル迄ハ何等融通ノ途ガナイ、斯ウ云
フコトニナルト、却テ餘裕ガアルカラト
云ツテ二百圓ヲ納ムル人ハナイノデヤナイ
カ、百圓、二百圓ト言フカラ金ハ僅カニナ
リマスケレドモ、是ガ相當ノ金額ニ上ツテ來
ルト、「アトラクシヨ」ガ何モナイト云フ
結果ニナリハシナイカ、私ノ考デハ三百圓
ニ對シテ三分五厘ノ利子ガ付ク程度ニ二百
圓ヲ返ス、サウスルト二百圓ダケ見ルト三
分六厘ニモナリマセヌケレドモ、何カ「ア
トラクシヨ」ナシニ斯ウ云フ方法ヲ採ラ
レルト云フコトガ貯蓄ノ獎勵ニナルカ、金
ガアルカラ使フトイケナイカラ納メルト云
フ位デ、「アトラクシヨ」ガナイト云フコ
トニナツテハ餘リ效能ガナイノデヤナイカ
ト云フ氣ガスルノデスガ、何カ外ニ誘引ス
ルナニガアルノデセウカ

○政府委員(氏家武君) 或ハ此ノ前御話申
上デマシタ際ニ、私十分ニ御分リニナルヤウ
ナ所迄申上デナカッタカトモ思ヒマス、モウ
一度申上デ見マス、此ノ戰時納稅貯蓄
ハ甲種ト乙種ニ分ケマシテ、甲種ノ方ハ納
稅額ノ二倍ノ貯蓄ヲスル、乙種ノ方ハ三倍
ノ貯蓄ヲスル、サウシテ甲種ノ場合ニ於キ
マシテハ大體二十年後ニ之ヲ其ノ儘ソク
リ返ス、乙種ノ場合ニ於キマシテハ大體十二
年後ニ其ノ儘ソクリ返ス、斯ウ云フコトニ
ナルノデアリマス、其ノ二十年後、十二年後ト
云フノハ大體ノコトヲ申上デテ居ルノデア
リマシテ、是ハ勿論利子ト云フ觀念ハナイノ
デアリマスケレドモ、只今ノ割引國債ナドノ
權衡モ考ヘマシテ、大體二十年、二十年ト

云フヤウナコトヲ申上デテ居ルノデアリマ
ス、多少ソレガソレヨリモ短クシタ方ガ宜
イト云フヤウナ考ヘ方モアリマスノデ、ハッ
キリ其處ハ決ツテ居リマセヌ、デサウ云フ風
ニ致シマシテ利子ガナイノデアリマスル
カラ、是ニハ所得稅ガ掛ラナイノデアリマ
ス、又形式上ノ利子ハナイノデアリマス
ルケレドモ、割引國債ト同ジヤウニ、實質
的ノ利廻ト云フモノハ考ヘ得ルノデアリマ
ス、ソレノ方ハ二十年近ク、或ハ十二年近
クト云フヤウナコトニ致シマス、三分五
厘位ノ所ニ行クノデゴザイマス、ソレニ稅
ガ附カナイト云フコトニナリマス、實ハ
非常ニ有利ナ貯蓄ト云フコトニ相成ルノデ
アリマス、從ヒマシテ讓渡ノ禁止ト云フヤ
ウナコトモ考ヘテ居リ、二倍トカ三倍ト云
フヤウニ制限致シマシテ、之ヲ四倍ニモ五
倍ニモサセナイト云フヤウナコトニモ致シ
テアルノデゴザイマス

○河田烈君 サウスルト其ノ三分五厘ノ利
廻ニ當ルト云フノハ、矢張り貯蓄ニ當テタ
分ニ對スル利廻デスナ、今申上デタヤウニ
三百圓ニ對スル利廻デナク、二百圓ニ對スル
利廻、サウ云フコトニナリマスネ、モウ一
遍申セバ甲種、乙種ノ……複雑スルカラドッ
チデモ宜シイケレドモ、利廻ハ三分五厘程
度デアルケレドモ、之ニ所得稅等ハ掛ラナ
イカラ普通ノ貯蓄預金ノヤウニ所得稅ガ要
ラスカラ、利廻ハ少イガ、普通ノ貯蓄預金
ヨリ利廻ガ宜イ、此ノ點簡單ニ言ヘバサウ
云フコトニナルヤウニ承ツタノデスガ、ソレ
デ宜シイノデスカ

返ツテ來ルノハ二百圓デゴザイマス、ソレカ
ラ乙種ノ貯蓄ヲ致シマシタ場合ニ於キマシ
テハ、是ハ三百圓ノ貯蓄ヲスルノデゴザイ
マスカラ、略、十二年後ニ返ツテ來ルノハ三
百圓ガ返ツテ來ルノデアリマス

○河田烈君 私ハサウシタラ「アトラクシ
ヨ」ニナルト思ツテ居タ、此ノ間ノ御話
ノヤウデアッタラ「アトラクシヨ」ガナイ
ヤウニ思ヒマシタガ、ソレナラ「アトラク
シヨ」ガアル、私モサウデヤナイカト思ッ
タノデスガ、ソレナラモウソレ以上伺ヒマ
セヌ

○三井清一郎君 今ノニ關聯シテ質問ヲ致
シタイノデスガ……

○委員長(伯爵橋本實斐君) 宜シウゴザイ
マス、

○三井清一郎君 今ノ御話ヲ伺ヒマス、斯
ウ云フ感じガ致シマスガ、今日食フヤ食ハ
ズデ漸ク稅ヲ納メテ居ル、納メナケレバ仕
方ガナイカラ着物ヲ質ニ入レテ稅ヲ納メテ
居ルト云フ話モアル、ソレハ納稅ノ義務ヲ
盡スニハソレ位ヤラナケレバ本當デヤナ
イ、斯ウ云フヤウナ裕リノアル納稅貯蓄ヲ
ヤリマス、此ノ裕リノ利益ヲ利用スル者
ハ相當生活程度ノ高イ人デナケレバ利用出
來ナイ、一體納稅トカ、總テ國民全般ニ關
スル法令ハ、成ルベク上モ下モナイ、其ノ利
益ニ均霑セシメルト云フ根本精神カラ出發
シテ立法スベキデヤナイカト思フ、此ノ點
ニ付テドレダケノ御著意ニナツテ居リマス
カ

○政府委員(氏家武君) 只今御話ノヤウ
ニ、此ノ制度ガ餘リ有產者、資力ノ高イ人
ノ爲ノミニ利用サレルト云フヤウナコトニ
ナリマシテハ、誠ニ遺憾デアルト云フコト

ハ御意見ノ通りデアリマス、從ヒマシテ成
ルベク之ヲ所得ノ少イ階級ノ人ニモ利用シ
テ貰フヤウニト云フコトヲ考ヘテ居ルノデ
アリマス、デ大體非常ニ大キイ所得者ハ、
其ノ所得ノ半分以上モ稅ニ納メルト云フヤ
ウナコトニナリマスノデ、二倍、三倍ト云フ
ヤウナ貯蓄ヲ、納稅ノ機會ニスルト云フコ
トハ餘程困難ダラウト思フノデアリマス、
又強ヒテ此ノ戰時納稅貯蓄ヲスルト云フコ
トニナリマスルト、サウ云フ人ハ他ノ貯蓄
ヲ拂戻シテスル、詰リ振替リガ起ル、斯ウ
云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、ソレデ高
額ノ所得者ニ對シマシテハ制限ヲスルト云
フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、
ソレカラ低イ階級ノ人ニモ成ルベク之ヲ利
用シテ貰ヒタイト云フ考カラ、勤先デ受取
リマスル俸給、給料ト云フヤウナモノカラ、
源泉デ控除サレル甲種ノ分類所得稅ガ掛ル
ノデアリマス、斯ウ云フモノニ付キマシテ
ハ、例ヘバ毎月十圓ヅツ分類所得稅ヲ納メ
テ居ルト云フ人ハ、一ツ毎月二十圓ヅツ引
イテ置イテ貰ヒタイ、斯ウ云フヤウナコト
ニシマスルト、ソレガ二十年後ニ返ツテ來ル
ト云フコトニナリマスカラ、知ラズ知ラズ
ノ間ニ、税金ヲ納メタ積リデ貯蓄モ出來デ
居ルト云フヤウナコトニナリマシテ、働
ク間ハウント働イテ金ヲ貯メル、是ガ後ニ
ナツテ戻テ來ルト云フノデ、一種ノ家産
ヲ造成スルト云フヤウナ働キモシ、又見
様ニ依ツテハ年金的ノ働キヲスルト云フ
ヤウナコトニモナルト思フノデアリマス

○三井清一郎君 御説明ヲ承リマシテ尤モ
ニ感ジマスガ、我々一般ノ社會ヲ見透シ
タ頭カラ考ヘマス、漸ク生活シテ行クト
云フ程度ノ者デハ、納稅モ致サネバナラス、

生活ニハ追ハレテ居ル、ソレニ色々ニ國民トシテ此ノ時局ト戦力ノ増強ノ爲ニ盡シタイ、ソレダカラ食フ物ヲ食ハヌデ公モ買ハウ、預金モシヨウト云フ方面デハ、ナカノ此ノ戰時納稅貯蓄ノ二十條、二十一條等ヲ利用スルト云フコトガ餘リナイデヤナイカ、餘リ利ヲ以テ納稅ヲ、國民ノ本當ニ大切ナ義務ヲ利ヲ以テ引摺ルト云フコトハ、果シテ國民精神ノ昂揚ノ上ニ善イカ惡イカ、私ハ少シ疑問トシテ居ル、ソコデ細カイ議論ハアリマセウガ、引括メテ大體論カラシテ、是ハドウシテモ今御話ガアツタ高額所得者ハ五割、六割ノ納稅ヲスルカラト仰シヤルガ、ソレハ百萬圓取ル人ガ六割六十萬圓ノ納稅ヲシテモ、マダ四十萬圓ノ生活能力ガアルノデスカラ、ソレハ固ヨリ納稅ハ擔稅力カラ割出シテ御取リニナツテ居ルノダカラ、ソレハ至極當然ノコトデアアル、矢張りサウ云フ裕リノアル人ガ斯ウ云フ利益ノ方ニ、二十年間此ノ利子ニ對シテ無稅ノ方ヘ向イテ行クト云フコトハ、大キイ金デナケレバ算盤ガ採レヌノデスカラ、私ハ是ハモウ一步進ンデ御考ヘ下サレタイト思ヒマス、併シ成案ガ出來テ、既ニ斯ウ出來テ居ルノダカラ決シテ反對スル譯デハナイ、所感ヲ述ベタ譯デス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 他ニ御質疑ハアリマセスカ

○公爵一條實孝君 私モ十七條デチヨット伺ヒタイノデスガ、是ハ何デスカ、無制限、詰リドシナ高額所得者デモ別ニ制限ハナイ譯デスネ

○政府委員(氏家武君) 段々三井サンカラノ御話モアリマシタヤウニ、能ク考ヘテ見マスト云フト、實質的ノ利廻トシテハ相當

有利ナノデアリマス、但シ年限ガ十二年トカ二十年トカ、相當長イ間縛ラレル、サウシテ之ヲ讓渡スルト云フノハ、法令ニ決ッテ居ル場合ニ日本銀行ニ對シテ讓渡スルコトシカ認メナイト云フヤウナ、又一方ニ於テ不利ナ點モアルノデアリマス、併シ實質的利廻ダケヲ考ヘテ此ノ貯蓄ヲシヨト云フ人モナイトハ限ラナイノデアリマス、從ヒマシテ非常ニ多額ノ納稅ヲスル人ニ對シテハ成ル可ク制限スルト云フ考ヘ方カラ、是ハマダハツキリハ決ッテ居ラナイノデアリマシガ、一回ノ納稅額幾ラ、或ハ一回ノ貯蓄額幾ラ、或ハ年額デヤル方法モアルト思ヒマス、制限ヲシテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○公爵一條實孝君 矢張り制限ヲサレルノデスナ、サウスルト結局今政府委員ノ御答ノアツタノヲ伺フト、狙ヒ所、小サイ納稅者ヲ狙ッテ居ラレルノデスネ、心持ハサウナンデスネ

○政府委員(氏家武君) 成ル可クハ之ヲ、小サイト申シマシテモ稅ヘ命令デ規定シヨウト思フノデアリマスガ、所得稅、戰時利得稅ト云フヤウナモノデアリマスカラ非常ニ小サイ、謂ハバ細民階級ト云フヤウナ方面ニハ大シテ用事ノナイコトデアルト思フノデアリマス、之ヲ中流階級ト云フヤウナ方面ニ利用シテ貰フヤウニ、考ヘテ居ル次第デアリマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 他ニ御質疑ハゴザイマセスカ、私チヨット極細カイ事デアリマスガ、伺ッテ見タイト思ヒマス、從來マア市町村等デアリマスルト、個人ノ納稅ヲ直接町役場等ニ納メルノニ、其ノ部落、區等ノ手ヲ經テ納メル、サウシマスト市

町村或ハ區等ガ徵稅ノ手数料ヲ貰フコトニナツテ居リマシテ、ソレガ或ル小サナ行政費ニ豫算トシテ組マレテ來テ居ルノデアリマシガ、此ノ制度ガ段々利用サレマス、サウ云フ中間ニ徵稅ヲシテ手数料ヲ取ッテ、豫算ヲ組ンデ居タヤウナ地方自治體其ノ他ノ收入等ノ關係ハドウ云フ風ニナルノデアリマセウカ

○政府委員(氏家武君) 此ノ制度ヲ施行致スヤウニナリマシタ際ニ、矢張り納稅ニ付テ取扱ッタ者ニ交付金ヲ出スノト同ジヤウニ、此ノ貯蓄ヲ扱フタ者ニ對シマシテモ矢張り或程度ノ交付金ヲ出ス積リデ居ルノデアリマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 其ノ點ハ分リマスガ、從來手数料ヲ取ッテ居タ者ノ收入ガ減ル關係ニナルダラウト思ヒマスガ、市町村等ノ役場ノ小サナ收入、個人カラ銀行ヲ經テ直接納稅サレデシマヒマス、ソレ等ノ爲ニ自治體ノ極僅カト雖モ入ッテ居タ收入ガ無クナルノデヤナイカト思ヒマスガ……

○政府委員(谷口恒二君) 今御質問ノ點ハ租稅ノ貯蓄納付ノ方ダケノコトデハナイヤウデゴザイマス、租稅ノ納稅準備預金ニ付テモ矢張り御尋ニナツタカト思ヒマスガ、納稅準備預金等ニ付テ御尋ノ點ハ從來通りト御承知願ッテ結構デアリマス、市町村ニヤリマスノハ從來通り交付金ヲ出スコトニ致シマス、納稅準備預金ノ場合ニ於テモ納稅ヲ世話致シマスノハ、銀行等デ世話致シマスカレドモ、矢張り銀行ガ何處ヘ納メマスカト申シマス、矢張り市町村ニ納メテ居タノデアリマシテ、市町村デモ矢張り從來通り徵稅ノ交付金ハ國カラ出ス、斯ウ云フ關

係ニナリマス、ソレカラ納稅貯蓄納付ノ方モ貯蓄致シマシタ場合ニ、此ノ貯蓄ハ政府ガ管掌スル、政府ガ扱フト云フコトニナツテ居リマスガ、政府ガ扱フノハ結局矢張り市町村カ何カニ頼マウト思ッテ居リマス、其ノ場合ニハ矢張り手数料ト申シマスカ、若干ノ交付金ヲ致シタイト思ヒマスカラ、此ノ方デモ收入ハゴザイマスルシ、ソレデ納タ稅金モ矢張り市町村ノ手ヲ經テ納タモノデアルト云フ風ニ、萬事從前通りト云フコトニ考ヘマシテ、只今御質問ノ交付金關係ハ從來通り同ジモノガ渡ル、斯様ニ御承知願ッテ結構ト思ヒマス

○河田烈君 サウスルト、法ニ付テ簡單ニ言フト「二十三條デスネ、戰時納稅貯蓄ニ關スル事務ハ市町村デアリマス」トカ、日本銀行其ノ他ノ命令ヲ以テ定メル者ヲシテ扱ハシメル、今迄市町村ガ徵收機關デアル所ノ稅ニ付テモ日本銀行其ノ他ノ命令ヲ以テ定ムル者ヲシテ扱ハシメルコトニ取レルコトハ實行出來ナイト言ヒ得ルト思ヒマス、從ッテサウスルト、從來市町村扱ヒノ稅ニ付テハ市町村ニ扱ハシメルコトニナルト思ヒマス、サウスルト今次官ノ御話ノ通り市町村ノ徵收手数料ハ減ラナイ、其ノ上ニ納稅貯蓄ニ關スル分迄手数料ヲ拂フコトニナリマス市町村ノ收入ハ寧ろ殖エ、斯ウ云フ結果ニナリマスカ

○政府委員(谷口恒二君) 左様デゴザイマス、サウ云フ風ニナリマス

○政府委員(氏家武君) 只今ノ御尋ネノ所デ一言附加ヘテ置キタイト思ヒマスノハ、日本銀行ガ扱ヒマス仕事ハ、此ノ貯蓄ノ貯蓄原簿ノ備附、整理ヲヤル、或ハ貯蓄ノ拂戻シヤルト云フヤウナ事務ノ方ヲ日本銀

行ニ扱ハセル積リデ居リマス

○河田烈君 御質問ガナケレバモウ一ツ伺ヒタイノデスガ、是ハ私ガ想像シテモ手數デ、困難ドラウト思ヒマスガ、納税貯蓄ニ對シテハ色々制限ガアツテ、是デ見ルト、納税貯蓄ヲ次期ノ租税ニ振替ヘルコトモ出来ナイドラウト思フノデス、サウ云フ趣旨ドラウト思フノデス、之ヲ振替ヘサセルト云フコトニスルト手數ガ非常ニ複雑シテ、實行スルコトモ困難カト思ヒマスケレドモ、サウ云フコトガ出来ルト餘程此ノ納税貯蓄ガ行ハレハセヌカ、次期ノ税額ニ振替ヘラレナイト云フコトニナリマス、茲ニ三千圓ナラバ三千圓ノ金ヲ甲種、乙種ト言ヒマスガ、千圓ノ納税ノ場合三千圓拂込ンデ、二千圓ハ貯蓄ニシテヤル、今度其ノ次期ニ千圓ノ納税ガ出来ナカッタ時ハ、自分ハ貯蓄ハ二千圓アルノダケレドモ、納税處分ヲ受ケルト云フヤウナコトガ起リ得ルノデス、想像スルト見方ニ依ツテハ、ドウモ是ハサウナルト餘程ウツカリ貯蓄モシテ居ラレナイ、ソレナラバ郵便局ニ預ケテアレバ、引出シテ納税處分ヲ受ケナイガ、納税貯蓄ニシタ爲ニ滞納處分ヲ受ケルト云フコトニナルハ、二千圓貯蓄ガアルノニ滞納處分ヲ受ケナケレバナライコトニナル、之ヲ次期ノ納税ニ當テ得ル、今ハ懷ニ餘裕ガアルガ此ノ次ドウカナルトイケナイカラ、納税貯蓄デ拂込ンデ置カウト云フ意味モアルケレドモ、ウツカリヤツデシマウト次ハ又滞納處分ニナルト大變ダト云フコトニナルト、ソコハ餘程氣分ガ違ハナイカト思ヒマスガ、是ハ私ハサウ中スモノノ納税貯蓄ノ金ヲ次期ノ税額ニ振替ヘ得ルト云フ使用方法ヲ認メ

タラ、大變複雑シテ困難カト思ヒマスガ、ソレハ考ヘラレマセヌデセウカ

○政府委員(氏家武君) 所謂租税證券ノ中ニハサウ云フ風ナ考ヘ方ラシテ居ルモノモアルト思フノデアリマス、御話ノヤウニ致シマス云フコト、税ヲ前取りシテ置クト云フヤウナコトニナルドラウト思フノデアリマス、デ租税ト貯蓄ヲドウ結ビ附ケルカ、マア色々考ヘテ見タノデアリマスルガ、是ハ納税ノ機會ニ貯蓄ヲサセヨウ斯ウ云フ考ガ主ニナツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ制度デハ次期ノ納税ニ充當サセルト云フコトハチヨット困難ダト思フノデアリマ

ス
○下村宏君 今ノ河田君ノ御質問ニチヨット連想サレルノデアリマスガ、段々一方デ納税ガ多クナツテ來ル、ソレカラソコヘ近頃貯蓄ヲスベシト云フノデ、町内會ナリ色々ノ方面カラ……、私今隣組ノ組長ラシテ居ルガ、殆ド義務的ノヤウニ組合ニ入レテ居ルノデアリマスガ、サウスルト昨今又更ニ是ハ町内會ニ依ツテ違フノデアリマセウガ、市民税ノ七倍或ハ八倍ノ公債ヲ賣ヘト云フノデ、私共ソレヲヤツテ居ル、打明ケタ所ハ隣組ノ寄合ナシカノ時ニ、税モ相當高クナツテ居リマスガ貯蓄セイト云フ、更ニ市民税ノ七倍八倍ト云フト、事實敵ハス、出来ナイト云フ聲ガ相當アル、僕ナドモ其ノ一人ナンデスガ、市民税ガ資力ニ比シテ割合ニ高イト思ツテ居ルノデアリマスガ、兎ニ角七八倍ノ公債ヲ賣ハナケレバナラスト云フコトニナルト、矢張り千圓近イモノヲ買ハナケレバナラストコトニナル、ソレデ今此ノ問題ニ觸レテ伺ヒタイノハ、是ハ一回限りデハナイ、所得税ナラバ所得税四

期ナラバ四期、何時デモ二倍ナリ三倍ナリセネバナラスト云フコトハナイガ、サウシヨウト言ツテ其ノ方ヘ向ケル、一方デ又貯蓄ノ獎勵モ多イシ、公債モ買ツテ呉レト云フ、其ノ方ヘモ相當ヤラナケレバナラスト云フコトニナルト打明ケテ尋ネルノハ、百圓ノ税ニ三百圓納メテアル、今度ソコデ納メタラ二百圓餘分ニ納メタルデアルカラ、其ノ二百圓餘分ニ納メタルト云フコトニ依ツテ他所ノ公債ニ應ズルカ、貯蓄ニ應ズルノヲ相殺シ得ルモノデアルカ、ソレハソレデオ前勝手ニヤツテ居ルノデアルカラ、其ノ他ニ矢張り貯蓄ナリ公債ハ斯ウ斯ウシナケレバナラスト、斯ウ云フコトニナリマスガ、其ノ邊ノ關係ヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ是ハ此ノ法案ガケニ限ル譯デハナイノデアリマスガ、是ハ此ノ機會ニ分リ易ク説明願ヘルト仕合セナンデアリマスガ、今僕ナシカ貯金ヤサウ云フノヲ賣ハ五口ヤ六口事實ハヤツテ居ル、隣組ハ隣組デ持ツテ來、其ノ他、他ノ關係デ矢張り多少トモ奉ジテ居ルノデアリマスガ、實ハ今度ノ市民税七倍ト云フヤウナコトヲ言ハレテ大分手許ガ苦シクナツテ來タノデ、斯ウ云フ方ヘヤツテアルノデアルカラト云フコトヲ言フケレドモ、矢張り町内會ナラバ町内會デ、自分ノ所デ是ダケ成績ヲ舉ゲタト云フコトヲ言ヒタイ、或ハ其ノ場所ノ方面ノ郵便局デハ、其ノ郵便局デ是ダケノ成績ヲ舉ゲタト云フコトヲ言ヒタイト云フコトニナルノデ、我々トシテハ外ヘモ斯ウヤツデアルノデア

ルカラト云フケレドモ、矢張りソレノ理窟ガ附クラシイノデアリマス、例ヘバ私ノ友人ナド勸業銀行ニ貯金ラシテアル、其ノ貯金ラシテアル金デ報國債券ナリ勸業債券

ノ募集ノアル時ニ其ノ預ケテアル金デ横移シニ應ジテ貰ツテ、其ノ債券ヲ保管預リニ其ノ儘ニナツテ居ルト云フコトニシテ居ルカラ、モウ今度國債ニ應ジナクテモ自分ハ斯ウヤツテ居ルト云フガ、町内會ヤ何カノ方デハ、ソレデハ困ルト云ツテ、預ケタ金ヲ銀行カラ引出シテ又自分ノ住ンデ居ル所ノ公債ニ應ジルト云フコトハ、サウ云フ手數ヲ抜ク爲ニ不斷カラ預金ラシテ置イテ振替ヲヤツテ居ルカラ、ソレハ特別ニ又引出シテ、其處カラ自分ノ居ル場所カラ現物デ受取ツテソレヲ本預リニセンナラスト云フヤウナ、手數ガ逆ニナル、斯ウ云フ點デ色々場合ガアルドラウト思フノダガ、決シテ成ルベク少クシテ助カラウト云フ意味デハナイケレドモ、何カ其ノ邊ノ所デ、斯ウ云フヤウニヤツデアレバ、ソレノ分ダケハ重複ニナルカラ認メテ宜イトカドウト云フヤウナ點ヲ、是ハ法律ノ問題デヤナイカモ知レヌガ、又其ノ各町内會等ニ依ツテヤリ方モ區々ニナツテ居ルノデヤナイカト思フノデス、サウ云フヤウナ點デ相當僕自身ヲ初メ大分近頃ハ困ツテ來テ居ルノデスガ、ソレ等ニ對スル何カ便法ト云ヒマスガ、モウ少シ簡便ニ重複ヲ避ケルトカ、何カサウ云フ點ニ付テノ指示スル、サウ云フ取扱ヲモウ少シ劃一ニスル、サウ云フ點ニ付テ御話ヲ聽クコトガ出来レバ……

○政府委員(氏家武君) 最初ノ戰時納税貯蓄ノ方デアリマスガ、是ハ申上グル迄モナク決シテ強制スルモノデハナイノデアリマス、從ヒマシテ所得税デアリマスレバ、第一期ハ貯蓄納付ヲシタケレドモ、第二期ハ金ノ都合ガ悪いカラ止メタト云フノデアレバ、ソレデモ宜シイノデアリマス、又第二期ハ

第四部第二類 國民貯蓄組合法中改正法律案特別委員會議事速記第三號 昭和十八年二月二日 貴族院

七

二倍ノ甲種ノ貯蓄納付ヲヤッタケレドモ、第三期ハ金ノ都合ガ好イカラ、是ハ乙種ノ貯蓄納付デ三倍デ行カウト云フナラモ結構ナノデアリマス、又普通ノ所得税ノ方ハ貯蓄納付ヲシタケレドモ、臨時利得税ノ方ハ是ハ止メタト云フナラソレデモ宜シイノデアリマス、其ノ納税者ノ金ノ都合ニ依ッテ、任意ニ各期各税毎ニ、又甲種、乙種何レデモ選ンデ戴ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ一旦貯蓄納付ヲシテ、ソコニ戰時納税貯蓄ガ出来テ居ル、何カ後デ國債ナリ債券ナリ買フ時ニ、ソレト相殺スルヤウナ方法ハドシナモノカト云フヤウナ御話ニ伺ツタノデアリマスガ、ソレハ先程ノ次期ノ納税ニ充當スルト云フコトヲ認メナイノト同ジヤウニ、後デヤル貯蓄ト振替ルヤウナコトハ認メナイト云フ考デ居ルノデアリマス、ソレハ認メテモ貯蓄ノ増加ニハナラナイノデアリマシテ、又考ヘ様ニ依リマシテハ、是ハ貯蓄トシテハ最モ長期固定性ノアル貯蓄デアッテ、戰時貯蓄ト致シマシテハ是程結構ナモノハナイ、是ガ他ノ貯蓄ニ變ルト云フノハ却テ貯蓄ノ増強トハ逆ノ方向ニ進ムモノデアル、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、第二點トシテ今日ノ貯蓄ハ、所謂多元的ノ貯蓄方法ヲ採ッテ居ルノデアリマシテ、丁度税ニ付キマシテモ段々多クノ税ヲ納メサセルト云フコトニナリマス、自然種類ヲ多クスルト云フノト稍、趣ヲ同ジウシテ居ルノデアリマスガ、ドウシテモ今日ノ場合色々ノ貯蓄ノ種類、方法ト云フモノヲ設ケマシテ、又色々ノ方面カラ貯蓄ヲ勸奨スルト云フ方法ヲ採ラナケレバ、ナカノ二百三十億ト云フヤウナ大キイ額ハ集ラナイ

ノデアリマス、其ノ爲ニ御迷惑ヲ御感ジニナル方面ノ方モ有リニナルトハ思フノデアリマスケレドモ、貯蓄思想ノ餘リ發達シナイ方面ニ於キマシテハ矢張り足ヲ運ビ、ウハサイ程説明モスルト云フヤウナコトニ依ッテ相當ノ貯蓄ヲ生ミ出シテ居ルト云フノガ實情ナノデゴザイマス、今日模範的ノ貯蓄組合デアルトカ、或ハ模範的ノ町内會、部落會ト云フヤウナモノニ於キマシテハ、私共ガ想像致シテ居ル以上ニ、非常ニ多クノ種類ノ貯蓄ノ仕方ヲ採用シテ居ルヤウデゴザイマス、尙能ク預金ヲ下シテ、拂戻シラシテ、國債ヤ債券ヲ買ツテハ何ニモナラヌデヤナイカト云フヤウナコトヲ聞カサレルノデアリマスガ、是ハ國債ヤ債券ノ割當ガアツタ其ノ時ニ拂戻シテ使ヘルト云フヤウナ貯蓄デアリマス、大體ハ當座的ノモノナノデアリマス、從ヒマシテサウ云フ當座的ノモノガ國債ヤ債券ト云フ形ノモノニ變ルト云フコトデアリマスレバ、是亦一種ノ貯蓄増強ニナルト思フノデアリマス、又不斷貯金ナリ預金ナドシテ置キマシテ、サウシテ割當ガアツタ場合ニソレヲ拂戻シテ買フト云フ、當初カラサウ云フ計畫デ預貯金ヲシテ居ルモノモ相當アルヤウデゴザイマスカラ、預ケタモノヲ拂戻シテ買フトデハ全然意味ガナイト云フ風ニハ申スコトガ出来ナイト考ヘテ居ルノデアリマス、唯御話ノヤウナ場合勸業銀行ニ預金ガシテアル、向フノ方デ國債ヤ債券ヲ買ツテ直ガ保管ヲ委託スルト云フ方法ヲ採ッテ居ルノデアルカラ、隣組ノ方カラノ割當ハ斷ルト云フヤウナ方法ヲ認メタナラバドウカト云フ、斯ウ云フヤウナ御話デゴザイマス、是モ非常ニ其ノ方ダケノ御立場カラ考ヘマス御尤

モナコトナノデアリマスケレドモ、何セヨ色々ノ人達ガ隣組、町内會ニ居ルノデアリマス、從ヒマシテ隣組組織ト云フモノヲ通ジマシテ貯蓄ノ増強ヲ圖ツテ行クト云フヤウナ場合ニハ、一部分ノ人ニ多少御迷惑ニナルヤウナコトガアリマシテモ、成ルベク一ツ是ガ堪ヘ難イモノデナイ場合ニ於キマシテハ是非御協力ヲ願ツテ、皆デ一ツ緒ニヤラウト云フヤウナコトニシテ行ク必要ガアルト思フノデアリマス、殊ニ勸業銀行トカ、或ハ大銀行ニ預金ヤ貯金ヲ御持チニナツテ居ルト云フヤウナ方々デアリマス、云フト、是ハ大體ニ於テ隣組ノ中デモ相當目ヲ著ケラレテ居ラレル方面ノ方ト思フノデアリマスカラ、隣組ノ中ノ貯蓄思想ノ餘リ十分ニ發達シテ居ラナイ方面ノ人達、斯ウ云フ人達ヲ引立テルト云フ意味ニ於キマシテ、多少ノ御手數ハアルト思フノデアリマス、成ルベク一ツ御協力ヲ御願ヒシタイ、斯ウ云フヤウナ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○下村宏君 私貯蓄獎勵ノ委員ノ一人デスカラ、丁度今政府委員ノ話サレタヤウナコトヲ言ウテ居ルノデスガ、併シ今地方デ獎勵ノ演説トカ色々ナ時ノ貯蓄獎勵ハ、戰費ヲ賄フトカ何トカ云フ直接ノ理由ノ外ニ、サウ云フ方法デ手許ノ有金ヲ少ク、詰リ物資ヲ買フ方ノ力ヲ控ヘルコトニ依ッテ物價ノ騰貴ヲ防グ、又ソレハ自分ノ爲ダト云フコトデ、私共絶エズ講演シテ居ルノデアリマスガ、唯事實問題トシテ地方デ一番懇ヘラレルノハ、時局デ段々勃興シテ居ル事業カラ無名ノ士ガ出テ來タノガ相當アル、ソレニ反シ地方デ相當ノ古額デ格式ダケハアルガ、ドウモ時代ニ置キ去ラレテ行ッタト云フヤウナ階級モ相當アル、サウ云フ連中ハ割當ハ相當大キク、色々ナ方面カラ餘計集ッテ來ルノデ、一方デ預金ヲ引出シタリ、株ヲ手放シタリ、色々ナコトヲシテ體面ヲ保タナケレバナラヌト云フ連中モナイデハナイ、色々ナ方面カラ言ハレテ出來ルダケハヤッテ見ルケレドモ、餘リ押掛ケラレルノデ遂ニ手ヲ擧ゲルノダト云フ者ガ相當アル、速記デモ止メルナラバ私ハ色々ノ話ヲ知ッテ居ルノデ、又良イ例モ澤山アルノダガ……要スルニ今言フヤウナ社會的地位ト云フカ、格式ニ比較シテ力ノナイ者ト、一方デ伸ビテ居ル連中ト二ツノ流レガアル……

○委員長(伯爵橋本實斐君) 下村君、速記ヲ止メマセウカ

○下村宏君 イヤ、ソレ迄シナイデモ……ソレデ段々何處デモ餘リ重複シテ煩ニ堪ヘナイト云フ聲ガ起ッテ來テ居リマスカラ、此ノ心理狀態ハ見テ行カレネバナラヌト思フ、ソレカラ前段ノ方ハ私ノ問ヒ方ガ至ラナカッタノデスガ、私ノ問ウテ居ル氣持ハサウデナイノデ、此ノ納税積立ニ依ッテ百圓ノ所ヲ今度一ツ二百圓、二百圓ニ押ヘテ見ヨウトカト云フ時ニ、之ヲ納メル見積リヲ立テ時ニ、之ニ納メテ置ケバ納税額以外ノ金額ガ、一方隣組ナドデ貯金ヲセネバナラヌト云フノト相殺シ得ルヤ否ヤト云フコトデス、詰リ是ハ是デスルケレドモ、矢張り貯金ノ方ハ貯金デセネバナラヌト云フノガ此ノ制度デ、此ノ方ハ納メル一種ノ据置ノ長期ノ預金ノヤウナモノデスカラ、同ジ貯金ダカラコチラニ斯ウシテ置イタト言ヘバ、普通ノ月掛ナリノ貯金ハセズトモ宜イト言ヘルカドウカ、言ヘルカ言ヘヌカニ依ッテ見積リガアルト思フノデス、若シ自分ガ

月掛ノ貯金モスル、公債ニ應ズルコトモシ
ナケレバナラス、併シ今度ノ制度モ面白
カラヤッテ見タイト云フ時ニ今度ノコチ
ノガ、此ノ方ノ言譯ニ立ツカドウカト云
コトデス

○政府委員(氏家武君) 御話ハ戰時納稅貯
蓄ハ、所謂貯蓄組合ノ組合貯蓄ノ中ニ包含
サレカドウカ、貯蓄組合ハ戰時納稅貯蓄
ノ幹旋ガ出來ルカドウカ、斯ウ云フコトニ
ナルガラウト思フノデアリマス、只今色々
其ノ點ハ研究致シテ居ルノデアリマスルガ、
何ンセ税金ト一緒ニヤル貯蓄デハアリ、又
取扱場所ナドノ關係カラ、直チニ之ヲ組合
貯蓄ニ入レルト云フコトハ、今此處デ申上
ガルコトモ出來ナイト思ヒマス、若シ入
レルト云フコトニナリ、貯蓄組合法ニ基
テ幹旋シ得ル貯蓄ニ指定スルト云フコトニ
ナリマスレバ、御話ノヤウニコチラニ是
ケノ貯蓄ヲシテアルカラト云フコトニナ
ラウト思ヒマス、只今ノ所マダドラ
モ決メテ居リマセス、モウ一ツ御話ノ、謂ハ
バ時局ノ爲ニ新興階級ト申シマスカ、無名
ノ富豪ト申シマスカ、サウ云フ者ガ段々現
レテ來テ居リマシテ、斯ウ云フ方面ガ貯蓄
ニ付テ非常ニ樂シシテ居ル、又一方非常ニ
格式ガ宜シイ爲ニ、收入ガ之ニ伴ハナイニ
拘ラズ相當ノ貯蓄ヲシナケレバナラスヤ
ニナツテ居ル、殊ニ市民稅ノ何倍ト云フヤ
ナコトニナリマス、市民稅ハ御承知ノヤ
ウニ家屋ノ賃賃價格ナカモ其ノ要素ニ取
入ラレテ居リマス、收入ガ澤山ナ
ニシテモ、立派ナ家ニ住ンデ居ルト云フ
トニナリマス、市民稅ガ高イ、從ッテ貯蓄額
ガ多イト云フヤウナコトニナリマシテ、具
體ノ場合ニ貯蓄能力ニ相應シナイト云フ

ヤウナコトモ起ルト思フノデアリマス、是等
ノ點ニ付キマシテハ、十分注意スルヤウニ
指示シテ居ルノデアリマスルケレドモ、地
方ノ方ハ相當經驗モ經テ來テ居リマス
シ、又部落會ナリ隣組ナリデオ互ノ資力ナ
シカモ割リニ能ク知り合ッテ居ルノデ、大
シタ支障モナク行ハレテ行ッテ居リマス
ドモ、東京市トカ大阪市ト云フヤウナ大
市ニナリマス、マダ隣保組織ガ十分ウマ
ク働イテ居ラナイ所モアルヤウデゴザイ
マス、從ヒマシテ手ヲ抜イタ極メテ外形標準
的ナモノヲ使ッテ、貯蓄ノ割當ヲスルト云フ
ヤウナ段階ニ今日アルノデアリマス、是ガ
ヨク隣組アタリデ協議ヲシ合フ、或ハ町内
會ノ貯蓄ニ付テノ委員ガ居リマシテ、此ノ
人ガ色々ナ點ヲ考ヘテ、サウシテ杓子定規
ナヤリ方ニ適當ナ斟酌ヲ加ヘルト云フヤ
ウナコトニ段々進ンデ參リマス、御話ノヤ
ウナ不都合ナ場合ガ少クナツテ來ルコト
アラウト思フノデアリマス、丁度本年度カ
ラ來年度ニ掛ケマシテ、貯蓄組合指導員ト
云フモノヲ全國ニ相當多數設置スルコトニ
致シマシテ、是等ノ人ノ活動ガ本格的ニナ
リマスレバ餘程模様ガ變ッテ來ルデヤナ
カト云フ風ニ考ヘテル次第デゴザイマス

○下村宏君 マダ決ッテナイサウデアリ
マス、今度此ノ納稅積立金ト云フ制度ヲ新
作ラレルノデカラ、強制スル譯デハナイ
ガ、是ハ始メレバ相當成績ヲ擧ゲタイト
ヒマス、所謂措置ノ長期ノ預金ニナルノ
カラ前申シマシヤウニ、唯ノ普通ノ貯金
ヲスルヨリ是デ預ケル方ガ政府トシテハ
長期ニ確保出來ル譯デスカラ、無論此ノ
方ハ強制出來ヌ譯デスカ、ヤッテ見テ成
ル程宜イト云フノデ人氣ガ出テ、是ハヤ
ッテ見タラ

存外多クナツタト云フコトニナリタイ
ト思フノデアリマス、サウ云フコトニハ
今私ノ言ツヤウナ點モ、矢張り懷ロシ
大キナ問題ニナリヤセスカト思フ、サウ
云フ方ニ矢張り認メ得ルト云フコトニ
ナルト云フコトガ、納稅積立金ガ幾分
トモ成績ヲ高メル途デヤナイカト思
ヒマス、サウ云フヤウニ御考慮ヲ願フ
ト宜イト思ハレマス、後ノ方ハ只今御
話ノヤウニ政府デモ御考慮ニナツテ居
ルデセウガ、要スルニ是ハ地方デ、殊
ニ市ノ所在地デアリマスガ、市役所ノ
市民稅ノ割當方ノ問題ガラウト思ヒ
マス、即チ市民稅ノ何倍ト云フコト
デ大キナル、其ノ市民稅ノ立テ方ガ困
ルト云フ所ノ聲ガ多イト云フコトヲ御
參考迄ニ申上
○河田烈君 チョット私ハ一番初ニ二十
條ニ付テ質問ヲ致シマシテ、政府委員
ノ御答デ分ッタノデアリマス、ソレデ
十七條、十八條、十九條ニ關聯シテ見
テサウデアラウト思ッタノデアリマス、
ソコデ尙愚念デスカ、モウ一ツ念ヲ押
シテ置キタイ、第十九條ノ戰時納稅貯蓄
證書ニハ百分ノ三百以內ノ金額ヲ書ク
ノデスカ、其處ヲ簡單ニソレダケ……
モウ一遍御分リニナラナイト誤解ガ
アルトイケナイカラ、千圓ノ租稅ヲ納
メル時ニ三千圓納稅貯蓄ヘ納メ
ル、其ノ場合ニ十九條ノ證書ニハ三千
圓ト書クノデスカ、二千圓ト書クノ
デスカ
○政府委員(氏家武君) 甲種ノ貯蓄
デアリマスレバ二倍ノ二千圓ト書キ
マス、乙種ノ貯蓄デアリマスレバ三倍
ノ三千圓ト書キマス
○河田烈君 要スルニ當該期ノ稅迄
込メタ總金額ヲ書クノデスカ、ドウシ
テモ十七條、十八條、十九條ヲ見ルト
サウナルガラウト思ヒマス、從ヒマシ
テ二十條ニ於テ拂戻スモノ公二千圓
若シハ三千圓拂戻スト云フコトニナル
、其ノ場合ニ於テ拂戻ノ利廻ハ三分五
厘、三分四厘デモ三分二厘デモ三分六
厘デモ宜イガ、大體三分五厘ニ當ルト
云フノデカラ、私ノ質問モ、當初ノ質
問ハ有利ナ利廻ニナル、普通ノヨリ有
利ニナル、是ハ討論ノ方ニナルノデ……
非常ニムツカシクナルノハ百分ノ百ハ
飽ク迄稅デス、然ルニ十七條ニ依ッテ
「租稅ノ納付アリタルモノトス」ト云
フノハ、百分ノ百ノ「納稅アリタルモノ
トス」ト云フノハ、百分ノ百ノ「納稅
アリタルモノトス」ト云フノハ、二十
條デ返スモノハ、甲種ナラバ二倍、乙
種ナラバ三倍返スト云フコトニナルト、
十七條ニ依ッテ納メタ稅ト云フモノハ
稅ナノカ、非常ニ國民ノ義務タル所ノ
租稅ノ觀念ト、公債ト云フモノノ觀念
ヲ混淆致シハシナイカ、併シソレハ已
ムヲ得ナイ、「納付アリタルト看做ス」
ト云フノデナク「アリタルモノトス」
ト喧シク定メテ居ルノナラ、當該租稅
ノ二千圓若シハ千圓ノ「納付アリタル
モノト看做ス」ト云フモノ宜イデヤナ
イカ、サウナレバ後ノ振替ト云フコト
モ認メテ宜イデヤナイカ、氏家局長ガ
是ハ丁度稅ヲ先取シタモノトナル憂ガ
アルト仰シタル、私モ正ニサウ思ヒマ
ス、其ノ點ハ同感ダケレドモ、ソコ迄氣
ニシテ行キナガラ十七條、十八條、十
九條デ納メタ金額全體ノ貯蓄證書ヲ交
付スルト、斯ウスル以上ハ後ノ百分ノ
二百以內ト云フモノハ國ガ返スベキ義
務ヲ持ッテ居ル、ソレニ違ヒナイ、貯蓄
デスカラ……、然ルニ前ノ千圓迄込メ
テ、當該租稅迄込メテヤルト云フコト
ニナルト、公債ノ觀念ト納稅ノ觀念ト混
淆ヲ

來ス虞ガアリハシナイカ、是ハ質問ヨリ先
ヘ行ッテ討論デモウ少シハッキリ申上ゲタイ
ト思ヒマス、其ノ點ハ便宜ノヤウデアリナ
ガラ餘程考ヘナケレバナラヌ立法デヤナイ
カト云フ氣ガスルンデスガ、是ハ討論デス
ベキデスガ、念ヲ押シテ質問ヲ致シマス

○政府委員(氏家武君) 此ノ觀念ハ第四章
ニモ租税ノ貯蓄納付ト云フ名前ヲ附ケテ居
ルノデアリマス、貯蓄シマスモノハ戰時納
税貯蓄、此ノ戰時納税貯蓄ヲスルコトニ依
テ納税義務ガ履行サレタモノト見ルト、斯
ウ云フノデアリマシテ、普通デアリマスレ
バ納税義務ハソレニ相當スル金錢ヲ提供ス
ルコトニ依ッテ履行サレマスレドモ、例
外的ナ場合ト致シマシテ、證券ヲ以テ納税
ヲ履行スル場合モアル、先程モ問題ニナリ
マシタヤウニ物ヲ提供スルト云フコトニ
依ッテ納税義務ガ履行サレル場合モアルノ
デアリマス、ソレヲ擴張致シマシテ、此ノ
場合ニハ百圓ノ納税ヲシナケレバナラヌ、
斯ウ云フ場合ニ百圓ノ金錢ヲ提供スル代リ
ニ二百圓或ハ三百圓ト云フ貯蓄、眞ノ貯蓄
ハ一定ノ條件ヲ備ヘタ貯蓄デアリマスガ、
サウ云フ貯蓄ヲスルト云フ行爲ガアレバソ
レデ納税ノ方ハ納付アリタルモノトシテノ
效果ヲ發生スル、斯ウ云フ考ヘ方デゴザイ
マス、但シ後ノ方ノ規定ニモアリマスヤウ
ニ政府部門ノ取扱ト致シマシテハ、其ノ貯
蓄額ノ内納税額ニ相當スル分ハ之ヲ租税收
入トシテ處理スル、殘餘ノ分ハ公債發行ニ
依ッテ收入シタ金額ト同様ニ之ヲ公債金收
入トシテ收入スルト、斯ウ云フヤリ方ヲ執ッ
テ居ル次第デゴザイマス

ノ政府委員ノ申サレタヤリ方ハ分リマシ
タ、ソレナラバ寧ろ單ニ是ガ丁度餘裕ガアッ
タ場合ハ、納税以上ニ貯蓄モシテ置カウト
云フ觀念カラ見テ行クナラバ、納税額ト貯
蓄額トハ之ヲ以テ三千圓納メテ置イテモ千
圓ハ納税、二千圓ハ政府ノ方カラ見レバ公
債、借金ト云フ形ニ整理ヲシテ置クベキデ
ハナイカ、サウスレバ十九條ノ戰時納税貯
蓄證券ト云フモノハ、三千圓ヲ納メタナラ
バ二千圓ダケ交付スル、サウスレバ二十條
デ返ス時ニハ二千圓ダケシカ返サナイ、是
ハ立法ノ仕方デドウニデモ出來ルト思ヒマ
ス、而シテ二十年内デ二千圓ヲ返ス、其ノ
「アトラクション」トシテハ三千圓ノ三分五厘
ニ當ルヤウナ計算ヲシテ返シサヘスレバ、ア
トラクション」トアル、千圓ハ飽ク迄納税、
二千圓ハ飽ク迄貯蓄デアルト云フ建前ニ
ナツテ來ル、サウシナイデ全部ガ納税貯蓄
ダ、貯蓄納付ダ、此ノ貯蓄ヲシタラ納付ガ
アッタトスルト云フコトハ恰モ或場合ニ於
テハ國債證券ヲ以テシ、或場合ニ於テハ不
動產ヲ以テ納税スル、納税ハ原則トシテハ
金錢デアルケレドモ、例外ノ方法トシテ之
ヲ認メテ居ルノダカラシテ、現金デアルガ、
他ノモノヲ以テ納税スル例外ノ貯蓄納付ト
云フ一ツノ形ヲ採ルノダ、此ノ形ヲ採ルト云
フコトガ納税ノ觀念ト租税ノ觀念トノ混淆
ヲ來シハシナイカト申上ゲタガ、多少ノ懸
念ガアリマスガ、ソレモ一ツノ行キ方ダガ、
サウナツテ來ルト政府ガ大變心配サレテ居ル
租税ノ先取ダト云フ觀念ヲ起シハシナイカ
ト云フ心配ハ憂フル必要ガナイノデアッ
テ、貯蓄納付ト云フ一ツノ方法デ行クト云フ
ナラバ、前ノ三千圓ノ納税ヲ後期ノモノニ
充當スルコトガ當然宜イデヤナイカ、政府

ノ勸奨シテ居ル納税貯蓄ニ振替ヘテ納税ス
ルノダカラ、納税ノ形ガ現金ニ非ズシテ貯
蓄金ヲ以テ充テルト云フコトデアレバ、後
ノ分ニ充テルト云フコトニ行カナケレバ少
シ矛盾スルヤウナ氣ガスルンデスガ、ドウデセ
ウ、私ハ少シ先ニ意見ガアルデスガ、ソレ
ハ長クナルカラ、其處ダケ伺ッテ置キマス
○政府委員(氏家武君) 斯ウ云フ風ニ考ヘ
テ居ルノデアリマス、百圓ノ納税ヲスル人
ガ三百圓ノ金ヲ出シタ、ソレダケ貯蓄ヲシ
タ、斯ウ云フコトニナリマス、其ノ人ト
シマシテハ三百圓ノ公債ヲ買ツタ、斯ウ云フ
ヤウナコトニナルト思フノデアリマス、從ヒ
マシテ後デ貯蓄額ヲ其ノ後ノ納税ニ充當ス
ルト云フコトニナリマス、公債ヲ以テ税
ニ充當スルト云フノト似タヤウナコトニナ
リハセスカ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマ
ス、從ヒマシテサウ云フ考ヘ方ヲ避ケタイ
ト云フコトガ一ツアルノデゴザイマス、ソ
レカラ又其ノ貯蓄ニ付キマシテ後デ次期以
後ノ納税ニ充當スルト云フコトニナリマス
ト、何時充當サレルカ、充當スル人ガアリ、
シナイ人ガアル、其ノ爲ニ此ノ貯蓄ノ實質
的ノ利廻ナドヲ決メル上ニモ非常ニ面倒ガ
起ッテ來ルト思フノデアリマス、從ヒマシテ
一旦貯蓄ヲシマシタモノハ、是ハ何處迄モ
貯蓄トシテ扱ッテ行キマシテ、後ノ税トノ振
替リハ認メナイ、斯ウ云フ風ナヤリ方ノ方
ガ扱ノ上デモ簡單デ明瞭デアルト云フ風ニ
考ヘタ次第デゴザイマス

○河田烈君 ソレハ意見ニ互ルカモ知レナ
イデスケレドモ、非常ニ違フト思ヒマス、今
政府ハ百圓ノ納税ヲスル代リニ百分ノ三百
ノ公債ヲ買ツタと思ヘバ宜イト云フ御話ガ
アッタガ、ソレデハ大變ナ行キ違ヒナンド、
サウスルト納税ノ觀念ト公債ト云フ觀念ト
マルデ混淆シテ來ル、併シソレハサウ云フ
趣旨デヤナイダラウト思フガ、懸念ガアリ
マスヨ、甚ダ其ノ點ニ於テ懸念ノアル立法ダト
思ヒマス、併シ暫クサウ云フ積リデアッテ、
其ノ三分ノ一ト云フモノハ公債ヲ買ツタト
同ジデアルガ、ソレヲ以テ納税ニ充テルト
云フコトヲ認メテ居ル以上ハ後ノ公債ト云
フカ、貯蓄ト云フモノヲ充當スルノハ當
然ノ歸結ニナルノデヤナイカト思ヒマス、
是以上ハ意見ノ相違ニナリマスガ、其ノ點
ハ寧ろ矛盾シテ來ハシナイカ、寧ろ充テテ
モ今言フ通り後ノ納税期ニ充當シテモ、租
税ト云フモノト公債ト云フモノトノ觀念ノ
混淆ヲ來スト云フ懸念ハアリマスガ、ソレ
ナラバ話ハ一致スル、處ガソレガ公債ノ後
ノモノニ充テルト云フコトニナルト、今度
ハ公債ヲ以テ納付スルト云フヤウナコトニ
ナツテ、ソレハ如何ト思フデ居ルノデア
ルガ、公債ニ當ルヤウナ貯蓄ヲ以テ納付ス
ルト云フコトヲ認メテ居ルノダカラ、十七條
ハサウナツテコソ論理ハ一貫スルト思ヒマ
スガ、是以上ハ……其ノ趣旨ハサウ思フカ
ラ質問シタノデスガ……

○政府委員(谷口恒二君) 簡單ニチヨット
申上ゲテ置キマスガ、御話ノ點ニツニ分ケ
テアルト思フノデスガ、租税ノ貯蓄ニ御理
解ノ點ガ一點、斯ウ云フ制度ヲ是認シタ場
合ニ於テ、次期以下ノ租税ノ納付ニ充當サ
レタラ宜イデヤナイカト云フ點ト二ツニ分
ケラレカト思ヒマス

○河田烈君 宜イカ惡イカ、サセタラ宜イ
デヤナイカト云フノデナクテ、サウ云フ歸
結ニ結局ナルヲデヤナイカト云フノデス

○政府委員(谷口恒二君) 其ノ二ツノ點ニ

アルト思ヒマスガ、十分御理解ヲ得テ居ル所ト思フノデアリマスガ、一應、先程カラ國民貯蓄局長ノ御答ヘアリマシタ所モ併セマシテ述ベルコトヲ御許ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、之ヲ極ク實際的ニ申上ゲマス云フト、先程カラ又甲種トカ乙種トカ、御話ガ出テ居リマスガ、話ガ細カニナリマシテ、コンガラガラヤウナ話デアリマスガ、三倍ノ……假ニ千圓ノ税金ヲ納メマス場合ニ此ノ制度ニ依リマス、三千圓ヲ拂ヒマスト先程御話ノヤウニ、戰時納稅貯蓄證書ヲ政府ガ渡シマシタ時ニハ三千圓ノ額面ヲ御渡シ致シマス、サウデアリマスカラ、千圓ノ納稅ノ際ニ、三千圓持ッテ行ッテ貯蓄制度デ扱ッテ呉レロ、斯ウ仰シヤレバ、扱フ方ノ側デハ、千圓ノ租稅ノ領收證書ヲ出ス筈デアリマス、ソレカラ三千圓ノ戰時納稅貯蓄證書ヲ出ス譯デアリマス、ソレヲ持ッテ行ッテ方ハ、稅モ納ツタシ、三千圓ノ貯蓄モ出來タト云フ氣持デ御歸リヲ戴クコトニナル、ソレ其ノ時ニ貯蓄ヲナサツタ方ノ懷口勘定ハドウ云フコトカト申シマス、千圓ノ納稅ヲシナケレバナラス、ソコデ千圓ノ納稅ヲシテ、サウシテ三千圓ノ貯蓄證書ヲ貰ッテ御歸リニナリマスガ、是ハ二千圓貯蓄ヲシテ、後ノ千圓ト云フモノハ十二年間ニ出テ來ル所ノ割引國債ノ差減額ト申シマス、ソレニ相當スル利息ヲ十二年後ニ貰フト云フ懷口勘定ニナルト思ヒマス、政府トシテハ其ノ三千圓ノモノヲドウ扱フカト申シマス、千圓ハ租稅收入ニ入レマシテ、後ノ二千圓ハ先ノ方ニ書イテゴザイマスガ、戰時臨時軍事費ノ關係ノ公債、大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費ニ充テタモノトシテ、公債發行額トシテ整理シテ行ク、尙細カク申

シマスレバ、現在割引國債ヲ發行シテ居リマス場合、發行ノ差減額ヲ年々ノ償還年限デ分ケタモノヲ、償還資金トシテ入レテ整理シテ行ク、アレト同ジヤウナやり方デ整理シテ行キマシテ、十二年後ニソレヲ、三千圓ヲ償還スルト斯ウ云フ恰好ニナルノデアリマシテ、斯ウ云フ大體仕組デアリマシテ、先程カラノ御話デアリマスガ、納稅スル方ノ方ノ立場ニスレバ、千圓ノ税金ハ納ルシ、同時ニ先々十二年後ニハ三千圓取レルガ、其ノ三千圓ノ内ノ千圓ト云フモノハ、二千圓ニ對スル利息ニ相當スル部分デアル、斯ウ云フ大體懷口勘定ニナルト、斯ウ云フ考ヘ方デアリマス、サウ云フノガ實際ノ制度デアリマスガ、若シサウ云フ制度デアルトスルナラバ、次期以下ノ納稅ニ充當セシムルコトガ當然出テ來ルト云フ御話デアリマシテ、是ハ私モ先程カラ伺ッテ居リマシテ、或ハサウ云フ筋カトモ思ヒマスガ、併シ政府ノ今考ヘテ居リマスコトハ、次期以下ノ納稅ニ充當サセルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、唯三倍ノ場合ニ十二年後ニ三千圓ヲ返スト云フダケノコトニ致シタイト云フコトヲ只今考ヘテ居リマス、此ノ納稅貯蓄證書ト云フモノハ、讓渡スルコトヲ得ナイト云フコトニ致シテ居リマシテ、特別ノ場合ニ日本銀行デソレヲ金ニ換ヘルト云フコトヲ致シマスガ、只今御話ノヤウニ次期以下ノ納稅ニ充當セシメルト云フコトハ制度トシテハ今考ヘテ居リマセヌ、併シ是ハサウ云フ筋合デアルト云フコトヲ一ツノ御議論デアルト、尤モナ御説デアルト云フコトハ私モ考ヘルノデアリマスガ、只今ノ所デハサウ云フ風ニ考ヘテ居リマセヌ、將來ノ制度ノ發展トシテハ、此ノ戰時納稅貯蓄制度ト云フモノガ發展シテ參レバ、次期

以下ノ納稅ニ充當セシメルトカ、或ハ相續稅ノ納稅ニ充當セシメルト云フヤウナコトニ發展シテ行クカモ知レマセヌ、一ツノ御議論デアルト申シマス、尙疑ヲ挾ム餘地ヲ殘シテ居ルカノ如キ申シ方デアリマス、ケレドモ、筋合トシテハ御尤モデアルト存ジマス

○河田烈君 意見ニ互ルコトデアリマスカラ申上ゲマセヌガ、立法ノ趣旨ハ一應分リマシタカラ質問致シマセヌガ、チヨット念ヲ押シテ置キマス、今次官ノ御話ニ依ルト十九條ノ證書ハ三千圓ノ證書ヲ渡スケレドモ、二十條ニ依ッテ返ス利廻計算等ハ二十年目、假ニ簡單ニスル爲ニ、十二年目デスカ、十二年目ニ三千圓ノ拂戻スルト、ソレハ此ノ間カラ屢、出テ居ル凡ソ三步五厘位ノ利廻ニナツテ返サレルト云フノハ、十二年ト云フコトニシマス、二千圓ニ對シテ……、又元ヘ戻ッテ、三千圓ニ租稅等ヲ込メテ返サレテ、二千圓ニ對シテ三步五厘位ニ當ルカ、矢張り三千圓ニ對シテ三步五厘位ニナルカ、是ハ細カク計算シナケレバ分ラナイデセウガ……

○政府委員(谷口恒二君) ソレハ二千圓ニ對シテデゴザイマス

○河田烈君 三千圓ハ返スガ、割合ハ二千圓、ソレデ凡ソ三步五厘位ニナル、ソレデ丁度前ニ貯蓄局長ガ言ハレタ方ガ正シカッタ譯デ、サウスルト十七條ノ租稅ト公債トノ觀念ノ混淆ノ點ハ心配ガナクナルト同時ニ、又逆戻リシテ、「アトラクシヨ」ハ少クナル、斯ウ云フコトニナリマスネ、趣旨ハ分リマス、所得稅ガ掛ラナイカラ利益ハナルデセウケレドモ、非常ニ割合ガ少クナル、行キ方ハ分リマシタ

○三井清一郎君 速記ヲ止メテ御相談申シタイ

○委員長(伯爵橋本實斐君) 速記中止

(速記中止)

○委員長(伯爵橋本實斐君) 速記ヲ始メテ……、ソレデハ午前ハ大分御勉強ヲ願ヒマシタカラ此ノ程度デ……、午後ハ一時半カラ開會致シマス

午後零時十九分休憩

午後一時三十九分開會

○委員長(伯爵橋本實斐君) 只今カラ國民貯蓄組合法中改正法律案ノ委員會ヲ續行致シマス

○公爵一條實孝君 甚ダ私素人ノ質問スルノデスガ、斯ウ云フ例ヲ擧ゲテ御説明ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス、第四章ノ戰時納稅貯蓄ノ場合ニ、假ニ此處ニ一萬圓ナラ一萬圓ノ納稅ヲスル人ガアルトシテ、是ガ御趣旨ニ應ジテ三萬圓ツツ戰時納稅貯蓄スル、其ノ人ハ比較的順調ニソレヲヤッテ行ク場合ニ、何シロ十二年モ先ノコトデアリマスカラ、死ヌ場合ガアル、死ンダ場合ニ相續稅其ノ他ノコトガドウ云フ風ナ形ニナリマス、ソレヲ一ツ御説明ヲ願ッテ置キタイ

○政府委員(氏家武君) 戰時納稅貯蓄ヲサレマシタ方ガマダ拂戻ノ期限ガ參ラナイ中ニ、相續ガ起ツタト云フ場合ニ、其ノ戰時納稅貯蓄ヲ相續ガ起ツタ當時ノ價格デ評價スルコトニナリマス、其ノ評價方法ナドハ一定ノ表ニ作ッテ置キマシテ、簡單ニ取扱ヘルヤウニシタイト思ヒマス、其ノ價格デ相續財産ノ中ニ組入ラレルコトナルノデアリマス、唯其ノ場合ニ相續財産ニ組入ラレ

タ、相續税ハ納メナケレバナラスト云フコトニナリマス、此ノ貯蓄ヲ拂戻サナケレバ現金ガナイト云フヤウナコトノ爲ニ、納税ニ差支ガ起ルト云フヤウナ場合モ考ヘ得ルノデアリマス、從ヒマシテ「十一條ニ戰時納税貯蓄ハ之ヲ讓渡スルコトヲ得ズ」ト云フ建前ヲ取ツテ居リマスケレドモ、「但シ命令ノ定ムル所ニ依リ日本銀行ニ讓渡スルハ此ノ限ニ在ラズ」ト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、ソコデ相續税納付ノ爲ニ現金ガ欲シイ、アノ戰時納税貯蓄ヲ日本銀行ニ讓渡シタイト云フヤウナ、斯ウ云フヤウナ申出デガアリマシタ際ニハ、二十一條ノ讓渡ヲ認メル場合ノ中ニソレヲ入レマシテ、其ノ價格デ日本銀行ガ買上ゲテ、之ヲ納税資金ニ使ツテ頂ク、斯ウ云フ方法ヲ認メタイト思ッテ居リマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 他ニ四章ノ御質問ゴザマセヌカ、……ゴザイマセヌナラバ第五章ノ雜則及附則ヲ議題ト致シマス、宜シウゴザイマスカ……ソレデハ第五章雜則及附則ニ付テハ別ニ御質問ガナイヤウデゴザイマスカ、納税施設法案ノ質問ハ此ノ程度ニ致シマシテ、次ニ臨時資金調整法中改正法律案ヲ議題ニ致シタイト思ヒマス、條章モ餘リ多クゴザイマセヌカラ之ヲ一括御質疑ノ議題ト致シマス

○下村宏君 調整法ノ第十條ノ五「貯蓄債券及報國債券ヲ除クノ外命令ノ定ムル所ニ依リ」云々トアツテ、ソレカラ頂戴シタ書類ニハ「本條ノ證券ノ券面金額ノ種類、賣出方法、償還期限並ニ償還方法、割増金ノ金額及其ノ附與ノ方法、割増金ノ支拂方法等ニ付規定ヲ設クルコト」トアリマスガ、此ノ内容ニ付テ當局ノ御見込ヲ承知シタイノ

デス

○政府委員(氏家武君) 只今御承知ノヤウニ割増金附債券ト致シマシテ、貯蓄債券ト報國債券ヲ發行致シテ居ルノデアリマス、此ノ外ニ郵便貯金切手ト云フモノモアリマスルガ、貯蓄債券及報國債券ニハ相當多額ノ割増金ヲ附ケテ居ルノデアリマス、之ニ付キマシテ色々世間カラ希望ガ出テ居ルノデアリマス、モット割増金ヲ少クシテ當選率ヲ多クシテハドウカ、殊ニ貯蓄債券トカ報國債券ト云フモノヲ、隣保消化ト云フ形デ、國民ニ消化シテ貰フテ居ル際デアルカラ、五千圓ダ一萬圓ダト云フヤウナ割増金モ結構デハアルガ、サウ云フ割増金ヲ附ケレバ自然當選率ガ惡クナルカラ、ソレヨリモモット低イ割増金デモ宜シイ、成ルベク澤山ノ人ニ當ルヤウニ仕組ンデクレト云フ要求ガアルノデアリマス、又逆ニ今段々金ノ値打モ昔ノヤウデナクナツテ來テ居ルカラ、一萬圓ト云ツテモサウ大イシテ魅力ハナイ、モウ少シ之ヲ大キナ額ニシテクレ、當ツテモ當ラナクテモ兎ニ角五圓ナリ十圓ナリノ金ヲ出シテ、何萬圓ト云フ夢ヲ見セテ貰フト云フコトダケデモ宜イノダ、斯ウ云フヤウナ意見モアルノデアリマスカレドモ、現在貯蓄債券、報國債券ト云フモノハ相當澤山發行サレテ居ルノデアリマスルカラ、今急ニ此ノ兩方ノモノニ付キマシテ、割増金ヲ現在ヨリモ非常ニ多クスルトカ少クスルトカ云フコトハ、既發ノ債券ノ價格維持ト云フヤウナ點カラ考ヘテ、餘程慎重ナ考慮ガ要ルノデアリマス、從ヒマシテ先程申上ゲマシタヤウナ方面ノ希望モ容レル爲ニハ、現在ノ貯蓄債券或ハ報國債券ト別個ノ債券ヲ出スト云フヤウナ必要モアラウカト思フノデ

アリマス、サウ云フヤウナ場合ノ爲ニ、此ノ條文ヲ追加致スコトニ致シタノデアリマスルガ、唯ハ兎ニ角割増金ト云フモノデ貯蓄心ヲ刺戟シテ行カウ、金利ト云フヤウナモノニハ餘リ魅力ヲ持ッテ居ナイ方面ノ人カラ購買力ヲ吸收シヨウト云フ場合ニ、斯ウ云フ債券ヲ使ハウト考ヘテ居ルノデアリマスカ、大體第十條ノ五ニ依ッテ發行セシメマス所ノ債券或ハ證券ト云フヤウナモノハ、其ノ時ノ情勢ニ依リマシテ、又使ヒ方ニ依リマシテ、色々額面ニ付キマシテモ亦割増金ニ付キマシテモ考ヘテ行キタイト云フ風ニ思ッテ居ルノデアリマス、即チ何カノ記念日ニ限ッテ發賣スルトカ、或ハ貯蓄強調週間中ダケ發行サセルトカ、或ハ工場方面ノ人ニダケ賣リ出ストカ、色々考ヘヤウガアルト思フノデアリマスガ、其ノ時々ノ事情ニ依リ、其ノ債券ヲ賣リ出ス方面ナドニ依リマシテ、豫メ一定シテ置カズニ、色々ナモノガ發行出來ルト云フヤウニシテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○下村宏君 御話趣ハ承知シタノデスガ、私共國民カラ所謂「ツエックロツテリ」ト云フカ、「ヨーロッパ」デハ殆ド何處ノ國デモヤツテ居ルガ、癩ノ患者ニ對スル施設トカ、ソレカラ近頃言ヘバ結核ノ病床ヲセメテモ二萬床位殖シタイト云ツテ、ソレモ一年別ニスレバ極メテ僅カヅツシカ出來ヌヤウデアリマスガ、今厚生問題ガ非常ニヤカマシイシ、殊ニ結核ナドニ付テハ病床モナシ、斯ウ云フ時局デ一般ニ體位ノ下ル時ニハ、ナカノ長イ年度割ナドデハ待ち切れナイ事態モ多イト思フノデ、元々誰モ鐵ガ當ラウト云フ算盤デ買フノデヤナイ

ノデスカ、寧ろ寄附ヲシテ呉レト云フノダガ、唯ノ寄附ト云フノデヤ魅力ハ一ツモナイカラ、サウ云フ魅力ヲ附ケテ、此ノ際諸君ハ一ツ結核患者ノ爲ニ金ヲ寄附シテ呉レト云フ意味デ、比較的、鐵ノ札數ナリ額ハ色々見方ガアリマセウガ、事柄ハ何ヤルノカト云ヘバ、之デ青年層ナドニ非常ニ多イ結核患者ヲ少クスルノダ、其ノ費用ノ爲ニ君等ハ喜捨シテ呉レト云フヤウナ聲ヲ揚ゲテ、所謂目的富籤ト云ヒマスガ、サウ云フコトヲ、無論當局デハ色々御考ニナツテ居ルノデアリマセウガ、サウ云フ趣旨ニ伴ッテ、又ソレニ相應シイヤウナ方法モ、之ヲ認メレバ矢張りヤリ得ルノデヤナイカ、ソレカラ衆議院ナリ貴族院アタリデモ能ク問題ニ出テ居タノハ航空證券、詰リソレニ依ッテ飛行機ヲ造ル、是ハ屢々問題ニ出テ居リマシタ、又或ハ近頃ニナレバ船舶ト云フモノガ非常ニ要ルノデスカ、サウ云フ船舶トカ飛行機トカ云フモノニ喜捨スルト云フ氣持デ、此ノ割増金制度ヲ擴充シテ行キ、一方デハ今言フ結核患者ノ施設トカ、其ノ他社會政策ニ相應シイモノガ澤山アルカラ、サウ云フモノヲ矢張り特ニ條文デ謳ツテモ、私ハ宜イト思フノデスガ、若シ此ノ第十條ノ五ノ規定ニ依ッテ、サウ云フ點モ考慮シテヤルコトニナレバ、極メテ時局ニ副ツタヤリ方デヤナイカト思ヒマス、當局デモ富籤ト云フ問題ニ付テハ、色々遠慮スルト云フカ、多少富籤ト云フ名前カラ懸念サレテ居ル點モアルヤウデスガ、又嘗テハ貴族院デ此ノ問題ガ……航空證券デアツタカト思ヒマスガ、豫算委員會デ出テ居リマシタガ、ドウモサウ云フ金ナンカ當ツテモ持ツノハ汚ラハシイトカ、宜クナイトカ云フ

ノデスカ、寧ろ寄附ヲシテ呉レト云フノダガ、唯ノ寄附ト云フノデヤ魅力ハ一ツモナイカラ、サウ云フ魅力ヲ附ケテ、此ノ際諸君ハ一ツ結核患者ノ爲ニ金ヲ寄附シテ呉レト云フ意味デ、比較的、鐵ノ札數ナリ額ハ色々見方ガアリマセウガ、事柄ハ何ヤルノカト云ヘバ、之デ青年層ナドニ非常ニ多イ結核患者ヲ少クスルノダ、其ノ費用ノ爲ニ君等ハ喜捨シテ呉レト云フヤウナ聲ヲ揚ゲテ、所謂目的富籤ト云ヒマスガ、サウ云フコトヲ、無論當局デハ色々御考ニナツテ居ルノデアリマセウガ、サウ云フ趣旨ニ伴ッテ、又ソレニ相應シイヤウナ方法モ、之ヲ認メレバ矢張りヤリ得ルノデヤナイカ、ソレカラ衆議院ナリ貴族院アタリデモ能ク問題ニ出テ居タノハ航空證券、詰リソレニ依ッテ飛行機ヲ造ル、是ハ屢々問題ニ出テ居リマシタ、又或ハ近頃ニナレバ船舶ト云フモノガ非常ニ要ルノデスカ、サウ云フ船舶トカ飛行機トカ云フモノニ喜捨スルト云フ氣持デ、此ノ割増金制度ヲ擴充シテ行キ、一方デハ今言フ結核患者ノ施設トカ、其ノ他社會政策ニ相應シイモノガ澤山アルカラ、サウ云フモノヲ矢張り特ニ條文デ謳ツテモ、私ハ宜イト思フノデスガ、若シ此ノ第十條ノ五ノ規定ニ依ッテ、サウ云フ點モ考慮シテヤルコトニナレバ、極メテ時局ニ副ツタヤリ方デヤナイカト思ヒマス、當局デモ富籤ト云フ問題ニ付テハ、色々遠慮スルト云フカ、多少富籤ト云フ名前カラ懸念サレテ居ル點モアルヤウデスガ、又嘗テハ貴族院デ此ノ問題ガ……航空證券デアツタカト思ヒマスガ、豫算委員會デ出テ居リマシタガ、ドウモサウ云フ金ナンカ當ツテモ持ツノハ汚ラハシイトカ、宜クナイトカ云フ

ヤウナ反對ノ聲ヲ偶、私ハ聞イタコトガアリ
マス、併シ何モ當籤シテ當ツタカラト云ツテ、
其ノ金ヲ自分ガ皆使ハナケレバナラスコト
ハナイノデスカラ、ソレヲ寄附シヨウトド
ウシヨウト、ドウニデモ使ヘルノデ、私ハ
此處ヘ色々ナ材料ヲ持ッテ來テ居リマスガ、
今迄報國債券ナド當ツテ、其ノ割増金ヲド
ウ善處シテ居ルカト云フ例ハ幾ラデモアル
ノデス、是ハアナタノ方デモ随分御調ニナッ
テ居ルト思ヒマス、今日ベモウドウセ全部
白イ黒イト云フ問題ハナイノデ、ドウシタ
ナラバ氣持好ク斯ウ云フ際ニ資金ヲ吸收出
來ルカト云フコトガ問題デアツテ、又其ノ吸
スルコトガ延イテ幾分トモ物價ノ騰貴ヲ止
メ得ルト云フ大キナ效果ガアルノデスカ
ラ、是ハ一ツ勇敢ニ思ヒ切ツテ此ノ方法ヲ
擴充シテヤツテ戴キタイト云フノガ私ノ希
望デアリマスガ、一ツ次官カラ所信ヲ承リ
タイト思ヒマス

○政府委員(谷口恒二君) 富籤乃至割増金

ノコトニ付キマシテ、特ニ富籤ノコトニ付
キマシテハ、下村サンカラモ豫テ御意見ノ
アル所ハ承知致シテ居ルノデアリマシテ、
豫テ承ツタ所及ビ只今御話ノ點ニ付キマシ
テハ、御同感申上ゲル點ガ非常ニ多イノデ
アリマス、然ルニサウ云フ御意見ヲ承リマ
シテカラ後、既ニ二年モ三年モ經テ居ル
ノデアリマスガ、未ダニソレヲ實行スル
コトニ至リマセズシテ、漸クノコト貯蓄債
券ヤ報國債券ヨリモモウ少シ踏ミ出シタヤ
ウナ程度ノ割増金ヲ附ケルト云フヤウナコ
トノ案ヲ具體化シヨウト云フヤウナ、只今
程度デアリマシテ、ドウシテモ元金ヲナク
サセル所ノ富籤、今度ノ十條ノ五ニ提案致
シテ居リマス制度ナドト、富籤トノ差異ハ

元金ヲナクスルカ、シナイカト云フ點ニ要

點ガアルノデアリマスガ、元金ヲナクスル
富籤ト云フ斯ウ云フ所マデ、マダドウシテ
モ實行ノ案ガ決メ得ナイデ居ルノデアリ
マス、其ノ理由ト致シマシテハ、富籤ニ關
シマシテハ、矢張り道義的ノ批判ト云フモ
ノガ相當アルト云フコトヲ感シテ居ルノデ
アリマス、ソレ等ノ道義的ノ考ヘ方ニ付キ
マシテハ、固ヨリ之ニ承服セザルヲ得ナイ
點ガ多イノデアリマスガ、併シ斯ウ云フ時
局ノ下ニ於キマシテ、從來ノ道義觀ヲドウ
云フ風ニ思ヒ諦メテ、ソレト妥協シテ行クカ
ト云フコトニ付テハ、考ヘ方ハナイコトハ
ナイダラウト思フノデアリマスガ、何レニ
致シマシテモ、道義觀ト云フモノガマダ其
處ニアルト云フコトガ一ツ感シラレルノデ
アリマス、ソレカラ又之ニ付キマシテハ歲
入ト云フ點カラ致シマシテ、考ヘテ見マス
ト云フト、サウ非常ニ大キナモノヲ望ムコト
ハ出來ナイ、併シ富籤ニ付キマシテハ、歲
入ノ問題ノミガ要點デハナイノデアリマシ
テ、只今下村サンノ御話ノ中ニモアリマシ
タノデアリマスガ、購買力ヲ茲ニ吸收スル、
或ハ茲ニ留置スル、少クトモ留置スルト云
フ所ニ非常ニ意味ハアルノデアリマスガ、
一ツノ方策トシテ考ヘマス場合ニ、國家ノ收
入ト云フモノガ差程上ルモノデハナイ、富
籤ノ賣上代金ノ中カラ、矢張り還付シタケ
レバナラスモノガ相當ノ額ニ上ボリマシ
テ、政府ノ歲入トシテ、殘ル部分ガ割合ニ
多クナイト云フ所ガ魅力ヲ少ナカラシメテ
居ル點デアアルノデアリマス、若シ之ヲ實行
致スコトニ相成リマスレバ、是ハ結構デア
ルカ、或ハ癩デアアルカ、或ハ航空デア
ルカ、或ハ又船舶ト云フヤウナ如キモノハ

一ツノ方法デゴザイマセウ、サウ云フモノヲ
目的トシテ、ソレニ集中シテ、富籤、普通
ノ道義觀カラハ許サレナイヤウナ富籤ト云
フヤウナモノヲ致シマシテ、今日ノ時局ニ
合フヤウニ購買力ノ吸收ヲシ、歲入ヲ一部
分上ゲルト云フコトヲアルニ付キマシテハ、
サウ云フ目的ヲ定メルト云フコトガ一ツノヤ
リ方デアルト思フノデアリマス、富籤ニ賣
出シマシタ時ニハ、サウ云フ目的ヲ定メテ
ヤルコトモ宜シカラウト思ヒマスガ、國民
貯蓄ノ一般ノ手段ト致シマシテ、割増金附
ノ證券、元金ヲナクシナイ普通ノ制度トシ
テヤリマス場合ニ於キマシテハ、此ノ特定ノ
目的ニ使フト云フコトニ付キマシテハ尙亦
考慮ヲ要スル點ガアルノデハナイカト考ヘ
ルノデアリマス、國民貯蓄ノ方法ニ依リマ
シテ、得マシタ資金ト云フモノハ矢張り一
般ノ公債消化資金ナリ、或ハ生産擴充資金
ニ使フベキデアツテソレカラ上ゲマシタ資
金ヲ、特定ノ目的ニ使フト云フコトニ付キ
マシテハ、是ハマダ考慮スベキ、研究スベ
キ點ガ殘ツテ居ルカノヤウニ考ヘテ居ルノ
デアリマス、併シ富籤ニ賣出シマシタ場合
ニハ、矢張り特定ノ目的ヲ決メマシテ、サ
ウシテ其ノ目的ノ爲ニ集中スルト云フコト
ニ依リマシテ、道義的ノ批判ト云フヤウナ
モノトノ調和ヲ圖ルト云フコトガ、極メテ
適當デアナイカト云フ風ニ考ヘテ居ルノデ
アリマス、ソレデ此ノ富籤ノ制度ニ付キマ
シテハ、外國ニアルコトモ承知致シテ居ル
ノデアリマス、近クハ又滿洲ニ於テモ、
サウ云フコトヲ實行致シテ居リマス、
ソレカラ外地ニ於テハ、富籤ト云フヤウナ
ヤリ方ガ購買力ノ吸收ニ付テ、非常ニ
實效ガアルノデハナイカト云フヤウナコト

モ考ヘテ居ルノデアリマス、差當リ將來若
シ、富籤ヲ實行スルト云フヤウナコトニ立
至リマスナラバ、試ミニ外地ニ之ヲ始メテ、
サウシテ漸次其ノ推移ヲ見ルト云フノモ一ツ
ノ方法デアナイカト云フヤウニ考ヘテ居ル
ノデアリマス、斯様ナ次第デアリマシテ、
富籤ノ說ニ付キマシテハ、事變開始以來、殊
ニ兩三年、各方面ニ於テモ、具體的ノ意見
トシテ、之ヲ實行ヲ懇請サレテ居リマス部
分モアルノデアリマスガ、只今申述ベマシ
タヤウナ、彼此諸點ヲ考ヘ合セマシテ、未ダ
富籤ヲ發行スル時デアナイ、其ノ時ニ至ツテ
居ナイヤウニ考ヘテ居リマシテ、今回ハ此
ノ十條ノ五、程度ノ割増金ヲ少シ度ヲ高メ、
又其ノ發行ノ制限ヲ擴ゲマシテ、之ニ依リ
マシテ斯カル種類ノ方法ニ依ッテ購買力ノ
吸收ヲ便トスルヤウナ方面ニ對シテ、國民
貯蓄ノ增強ヲ圖ル手段ニ致シタイト思フノ
デアリマス、前々ヨリ承ツテ居リマス御意見
ニ付キマシテハ、之ヲ考究ノ材料ト致シマ
シテ、彼此考ベルコトニ努メテ居ルノデア
リマスガ、只今ノ所デハ其ノ時期ニ至ラナ
イノデアリマス、併シナガラ此ノ富籤ト云
フコトニ付キマシテハ長所モアルコトハ認
メザルヲ得ナイト思フノデアリマスカラ、
今後引續イテ考究ハ續ケタイト思フノデア
リマス、今日ノ場合ニ於キマシテハ、十條
ノ五程度ノ所ニ落付イテ居ルヤウナ次第デ
アリマス

○下村宏君 御話ヲ諒ト致シマスガ、附加

ヘテ申シテ置キマス、學說ダカラドウデモ
宜イヤウデアリマスガ、我々學校デ學ンデ
居ツタ時分ハ「ロツデリー」、「チンセン・ロツ
デリー」ト云フモノガ今言フ割増金ニ當ツテ居
ルノデ、富籤ト云フ名前デ出タモノニハ色々

道義の問題を強調サレルコトガアレバ、何カ適當ナ名前ニ振替ハルコトモ考ヘラレルノデスガ、御話ノヤウニ元金モ割増ニ皆入レルノト、元金ハ保留サレテ、利子ダケ入レル、所謂富籤ト云フモノニハ二ツノ説ガアルト思ヒマス、今度ハ、詰リ段々利子ヲ少ナクシテ行ッテ、丁度「リミット」ヘ行ケバ、元金ダケハ返スガ、モウ利子ハ一切見ナイト云フヤウナコトガ今迄ノ勸銀ナドノ貯蓄債券ヲ初メトシテ考ヘラレルノデスガ、私ノ今ノ目的富籤ト云フコトハ、目的ヲ謳フコトニ依ッテ、何モ前借ヲヤルト云フ目的ダヤナイ寄附シテ呉レ、喜捨シテ呉レ、ソレダカラ利子ハモウ附カスゾ、元金ダケハ返シテヤルガ、其ノ利子ニ當ル總額ヲ皆割増ノ方ニ繰入レルノダカラト云フノガ「リミット」デ、ソレカラ段々元金ニ喰ヒ込シテ行く、極ク理窟ボク言ヘバ、元金モ半分ダケハ返シ、半分ダケハ利子ノ方ニ廻スト云フコトハマダ外ニハ例ガナイノデスガ、段階トシテハサウフ云フコトモ理窟ノ上デ考ヘラレヌコトハナイト思フ、無論滿洲デモヤッテ居レバ、支那デモヤッテ居ル、ソレカラ最近ハ昭南島デモヤッテ居ルコトガ新聞ニ見エテ居リマスガ、ソレカラ殊ニ近頃「ソ」聯デハア、云フ獨「ソ」戰ニナッテハ新手ノ財源トシテ非常ニ大仕掛ノ富籤ノ制度モ持ッテ居ルヤウデアリマス、斯ウ云フ時局ダカラ言ッテ居ルンデ、時局ガ濟ンデシマヘバ止メレバ宜イノデ、大東亞戰ヲ完遂センナラント云フ時ニ、段々是カラ先戰ガ愈々深刻ニナリ、戦線ガ擴マッテ來レバ一層豫算モ膨脹サレルノデアラウト思ヒマス、又日本銀行ノ發行紙幣ニシテモ増ス一方デアラウト思フ、サウスルト物價ハドウシテモ高クナッ

テ行カザルヲ得ナイノデスカラ、戰ガ此ノ程度デ片付イテ行ケバ是ハ問題ナイガ、サウデナイトシタナラバ、唯道義トカ、ドウトカ云フコトヲ言ッテ居ル違ハ私ハナイト思ヒマス、サウ云フコトナシニ時局ガ收拾出來レバ是程有難イコトハ私共ハナイト思フ、ナカノ此ノ大東亞戰ハサウ簡單ニハドウモ濟ムモノト思ハナイ、ソレヲ點ハ一ツ十分考ヘテ戴カナケレバナラズ、ソレカラ厚生省ノ、是ハ私共唯私ノ話デアリマスガ、今ノ結核ノ患者ヲ無クスルト云フ問題ニ觸レテ、サウ云フ特殊ノ方法デ氣持良ク相當ノ財源ヲ得ルコトガ、サナキダニ殖エテ行く戰時ノ豫算ノ上ニ何等カノ緩和ノ方法ニナリハシナイカト云フヤウナコトデ、昨年ノ議會ナドノ時ニハ私共ノ私話デハ話ガアッタノデス、全體ドウ云フコトニナッテ居ルカ知リマセヌガ、厚生省カラハ可成リ相當ナ結核ノ豫防又治療ニ關スル豫算ハ出テ居リマス、ケレドモアレデ宜イカト言ヘバ無論足リナイノデ、ソレヲ點ニ付テモ更ニ一ツ審議ヲ進メラレテ、何等カノ途ヲ講ジテ戴キタイト思ヒマス、是カラ先ハ意見ニナリマスカラ、是ダケノコトヲ申添ヘテ私ノ質問ヲ終リマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) チョット此ノ際伺ヒマスガ、此ノ法案ヲ拜見致シマス、殆ンド各條ニ或ハ他ノ命令ノ定ムルモノニ對シテトカ、命令ヲ以テ定ムルカアルノデスガ、斯ウ云フコトニ付テ一々御説明モ煩雜ト存ジマスガ、皆サシノ御參考ニナレバ宜イト存ジマスガ、何カ御説明願ヘマセヌデセウカ

○政府委員(谷口恒二君) 御尤モデゴザイマシテ、御手許ニ書類トシテ御廻シ致シテ

○委員長(伯爵橋本實斐君) 煩雜デナケレバ……

○政府委員(氏家武君) 第十條ノ三デゴザイマスガ、是ハ新種ノ預貯金ヲ扱ハセルトカ、或ハ貯蓄増強ノ施設ヲ命令スルト云フ權能ヲ得ヤウト云フ規定デゴザイマス、ソレデ此ノ命令ヲ受クル者ハ貯蓄ヲスル國民デハアリマセヌ、貯蓄ヲ取扱フ所ノ機關ニ命令ヲスルト、斯ウ云フコトニナルノデゴザイマス、ソコニアリマスヤウニ銀行、信託會社、保險會社、市街地信用組合、斯ウ云フモノノ外ニ市町村農業會デアルトカ、或ハ無盡會社デアルトカ、又貯蓄組合法ニ規定ノアリマシタ勤務先ノ預ケ金ヲ扱フトカ云フヤウナ場合ノ勤務先トカ、サウ云フヤウナモノガ命令ヲ受ケルト云フコトニナルノデアリマス、只今考ヘテ居リマス新種ノ預金ト致シマシテ早急ニ實行ニ移シタイト思ッテ居リマスノハ、國債貯金ト云フモノデゴザイマス、是ハ今日國債ガ發行サレテ居リマシテ、其ノ中所謂郵便局賣出ト云フ「マーク」ノ入ッタモノハ隨分大衆ノ間ニ行渡ッテ居ルノデアリマス、殊ニ隣保消化ナドニモ相當ノラ使ッテ居ルノデアリマス、所ガ是ガ金額ノ上ニ色々ノ制限モアリマス、ソレカラ小額ノモノヲ澤山印刷シナケレバナラナイ、印刷能力ノ關係モアリ、紙ノ問題モアルノデアリマス、又之ヲ配給スル上ニ非常ナ手數モ掛カルノデアリマス、從ヒマシテ國債貯金ト云フ特別ノ貯金ヲ認メマシテ、サウシテ國債ヲ買ハナイケレドモ、貯金ヲシタ時カラ國債ヲ買ッタト大體同ジ

ヤウナ利息ヲ付ケテ貰フ、但シ是ノ拂戻シヲ受ケル場合ニハ現金デハ拂戻シマセヌデ、國債ヲ以テ渡ス、斯ウ云フコトニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ依リマシテ先程申上ガマシタヤウナ小額國債ヲ發行スルコトニ伴フ所ノ色々ナル手數トカ、或ハ印刷能力、或ハ紙ト云フヤウナモノノ節約ニモ資スルコトガ出來ル、斯ウ云フ貯金ヲ始メマシタ際ニ、是ノ取扱方ヲ貯蓄取扱機關ニ對シテ命ジマシテ、サウシテ後ニ出テ居リマスヤウナ規定ニ基キマシテ、場合ニ依ッテハ補償金、補助金ト云フヤウナモノモ出シテヤル、又其ノ預貯金ニ付テノ免稅ノ計ヒモ出來ル、斯ウ云フヤウナコトニ致シタ次第デゴザイマス、十條ノ四ハ是ハ貯蓄證券ヲ發行シタイト云フ考ヘ方ナノデゴザイマス、ドウ去フモノニ發行サセルカト云フコトハマダハハッキリ致シテ居ラナイノデアリマスガ、斯ウ云フ證券ノ發行ナドニ經驗ヲ持ッテ居リ、又色々組織モ持ッテ居リマス日本勸業銀行ト云フヤウナモノモ適當ナ機關ノ一ツデアルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ貯蓄證券ノ券面金額ハドウ云フモノニスルカト申シマス、是モ一圓位ノモノ、五圓位ノモノ、勿論必要ダト思フノデアリマスガ、場合ニ依リマシテハ一圓ヨリモット小サイ金額ノモノモ出シタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、サウシテ此ノ證券ヲ以テマシテ之ヲ貯蓄ニ代ヘルト云フ場合ニハ、其ノ貯蓄ハ成ルベク長期固定性ノ貯蓄ニ代ヘルト云フヤウニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、序デナガラ何ノ爲ニ斯ウ云フ貯蓄證券ト云フノガ必要デアルカト申シマス、現在債券或ハ小額國債、是ガ例ヘバ贈答用ニ使ハレルトカ、

或ハ賞品トシテ使ハレトカ、或ハ記念日
ナドノ貯蓄トシテ使ハレトカ、神社ニ參
拜シテ序デノ神前貯金ト云フヤウナコトニ
使ハレトカ、色々使ハレテ居ルノデアリ
マスガ、何ト申シマシテモ賣捌キノ期間ガ
定メテアリマシテ、何時デモ何處デモ買
ルト云フコトニナツテ居ラナイノデアリマ
ス、又金額モ五圓トカ十圓ト云フ風ニ決ッ
テ居ルノデアリマスルカラ、丁度其ノ金額
ニ合ハナイ金額デハ求メルコトガ出來ナイ
ト云フヤウナ不便モアリマスルノデ、サウ
云フ不便ヲ之ニ依ッテ除去シテ行キタイ、貯
蓄シタイと思フ時ニ、其ノ機會ヲ逃サズ
ニ貯蓄サシテヤリタイ、サウ云フ考ヘ方ナ
デアリマス、十條ノ五ハ先程申上ゲマシタ
ヤウニ割増金附ノ債券證券デゴザイマシテ、
先程御説明申上ゲマシタヤウニ、券面金額
ノ種類トカ或ハ賣出方法、償還期限、割増
金ノ金額、割増金ノ支拂方法、斯様ナ事柄
ハ此ノ債券證券ヲドウ云フ方面ニ賣捌ク
カト云フコトニ依ッテ、色々變ヘテ行キタ
イト思ヒマスノデ、茲デ申上ゲルコトガチヨ
出來ナイノデアリマスガ、此ノ債券ヲ
賣ラセル、發行サセルモノ、是モ誰デナケ
レバナラスト云フ譯デハナイノデアリマス
ルガ、矢張り斯ウ云フ事務ニ慣熟シテ居リ
マスル所ノ、日本勸業銀行ト云フヤウナ所
ガ適當デハナイカト思フテ居ルノデアリマ
ス、尙此ノ證券ノ發行ニ依ル收入金ハ、命
令ノ定ムル所ニ依ッテ之ヲ運用スベシトア
ルノデアリマス、此ノ命令ノ内容ト致シマ
シテハ、例ヘバ國債ヲ保有サセルトカ、或
ハ大藏省預金部ニ預入サセルトカ云フヤウ
ナコトガ考ヘラレルノデアリマス、ソレカ
ラ十條ノ七デゴザイマス、是ハ増割金附ノ

預金ノ取扱ヲサセヨウ、斯ウ云フコトナ
デゴザイマス、外ノ例ヘバ滿洲國アタリデ
モ、斯ウ云フ預金ヲヤツテ居ルヤウデアリマ
ス、ヤリ方ニハ色々ナリ方ガアルノデゴ
ザイマシテ、今差當リドンナ形ノモノヲヤ
ルト云フコトニハ決メテナイノデアリマス、
是モ其ノ時ノ情勢ニ依リマシテ、色々考ヘ
様ガアルヤウデゴザイマスガ、扱ヘセマス
先ハ矢張り銀行ト云フヤウナ所ヲ考ヘテ居
ルノデアリマス、十條ノ八ハ是ハ減免稅ノ
規定デゴザイマシテソレノ證券、預金
ニ付キマシテ、外ノモノトノ權衡ヲ考ヘマ
シテ適當ナ率ヲ定メテ行キタイ、左様ニ考
ヘテ居リマス

○政府委員(田中豐君) 十五條ノ二以下ノ
命令案ノ内容ヲ御説明申上ゲマス、十五條
ノ二ハ國民貯蓄ノ増強ニ伴ヒマシテ、一
般大衆ノ小額國債デアルトカ、其ノ他貯蓄
報國債券等ノ所有額ガ非常ニ増加致シマシ
テ、中ニハ已ムヲ得ズ換價シナケレバナラ
ナイ者モアリマシテ、サウ云フ際ニ買上機
構モ現在ハ整備サレテナイ爲、非常ニ安イ
値デ賣ラネバナラスト云フヤウナ場合モア
ルト云フヤウナコトニ鑑ミマシテ、斯カル
大衆ガ所有致シマシタ小額國債デアルトカ、
貯蓄債券、報國債券等ノ簡便ナ、且確實ナ
賣買機構ヲ整備セムトスル爲ニ設ケル規定
デアリマスガ、併セテ唯單ニ買上制度ノミ
ナラズ、賣却モ致シ、或ハ賣買ノ代理、若
シクハ媒介モ致スト云フヤウナコトヲ規定
致シテ居ルノデアリマス、其ノ命令ノ内容
ト致シマシテハ、先ツ十五條ノ二ノ初メニ
命令ノ定ムル所ニ依リ賣買ヲ命ジ又ハ代理
ヲ命ズルトアリマス、此ノ命令ノ定ムル所
ニ依リマシテハ、例ヘバ買上ヲ爲ス場合ニ

御手許ニアリマス命令案ノ内容ノ方ノ順序
デ御説明申上ゲマス、本條文ハ命令ノ定ム
ル所ニ依リ銀行、信託會社、證券引受業者、
其ノ他ノ者ニシテ命令ノ定ムル者ニ對シ命
ズルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス
ガ、本法ニ依ッテ此ノ命令ヲ受ケル者ノ範
圍ハ、現在ハ差當リ銀行、信託會社等ト致
シマシテ、是等ノ本支店等ニ命令ヲ出シマシ
テ、此ノ賣買ノ取扱ヲ致サセタイト考ヘテ
居ル次第デアリマス、次ニ先程申上ゲマシ
タ命令ノ定ムル所ニ依リ賣買ヲ爲サシメル、
買上制度ノ内容ト致シマシテハ、買上ヲ致
シマスル場合ハ、例ヘバ銀行ガ澤山國債ヲ
持ッテ居ル、之ヲ買ッテ呉レト云フヤウナ
時ニ致スノデアリマセス、先程申シタヤ
ウナ趣旨デ本制度ヲ設ケマスガ爲ニ、金融機
關等以外ノ一般大衆ガ持ッテ居ル國債、事變
債券等ヲ買入レテ呉レト云フ申出ガアツ
際ニ適用致シマス、或ハ又其ノ買上ヲ致ス
ベキ證券ノ種類、國民貯蓄、即チ國債ニ付キ
マシテハ額面千圓以下ノ國債、其ノ他債券
ニ付キマシテハ貯蓄、報國債券デアルト云フ
ヤウナ規定ヲ致シタイト存ズル次第デアリ
マス、此ノ第十五條ノ二ノ第三行目ニアリ
マス「政府ノ指定スル法人ノ爲ニ有價證券
ノ賣買ノ代理若ハ媒介ヲ爲ス」ト申シマス
ハ、是ハ例ヘバ國債ニ付キマシテハ、日本
銀行ノ爲ニ先程申シタ銀行信託會社ノ本支
店ガ代理トカ賣買ヲ爲スト云フヤウナコト
ニ致シ、又貯蓄債券、報國債券ニ付キマシ
テハ日本勸業銀行ヲ指定シタイ、斯様ニ考
ヘテ居ル次第デアリマス、次ニ第十五條
ノ三ハ、前條ノ賣却ヲ爲ス爲ニ必要ガアリ
マスナラバ命令ノ定ムル者ヲシテ一定ノ證
券ナドヲ保有セシメル、斯ウ云フ規定ナド

アリマスガ、其ノ次ノ頁ノ初メニアリマス「命
令ノ定ムル所ニ依リ銀行、信託會社、證券引受
業者其ノ他ノ者ニシテ命令ノ定ムルモノ」
トアリマス、此ノ命令ヲ受ケル者ノ範
圍ハ、當分ノ内日本銀行本支店トシ、
此ノ本支店ガ保有ノ義務ヲ持ツト云フ
コトニ致シタイと思ヒマス、ソレカラ其ノ
前ノ、命令ノ定ムル所ニ依リ保有スルトア
リマス、此ノ命令ノ内容ト致シマシテハ、
保有スベキ證券ノ種類デアルトカ數量トカ
ヲ定メタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、
次ハ第十五條ノ四デ、只今申上ゲタヤウナ
コトヲ命令致シマシタ際ニ、賣買若ハ保有
ニ因ッテ損失ヲ生ズル、或ハ經費ガカカル
ト云ツタヤウナ場合ニ、政府カラ補助金ヲ出
シ或ハ損失ノ補填ヲ致スコトニナツテ居ル
ノデアリマスガ、命令ノ定ムル所ニ依リ斯
ウ云フコトヲスルト云フ、其ノ内容ト致シ
マシテハ、補助金ノ交付或ハ損失補填ノ手
續或ハ損失ノ基準……通常生ジ得ベキ損失
ヲ補填スルト云ツタヤウナ損失ノ基準ト云
フヤウナコトニ付テ規定ヲ設ケタイト存ジ
マス、次ニ第十五條ノ五デアリマスガ、是ハ
株式ノ市價安定ノ爲メノ規定デアリマス、
御承知ノヤウニ現在戰時金融庫ニ於キマ
シテ、株式ノ市價安定上必要ナラバ株式ノ
賣買ガ出來ルト云フコトニナツテ居ルノデ
アリマスガ、株式ノ市價ガ下リマシタ際ニ
ハ、戰時金融庫ガ資金ノ手當サヘアレバ
幾ラデモ買ッテ市價ヲ維持スルト云フコト
ガ可能ナノデアリマスガ、昂騰ノ際ニ於キ
マシテハ、現ニ株式ヲ持ッテ居ナイト、之
ヲ賣ッテ値ヲ下ゲテ適當ナ所ニ安定セシメ
ルト云フ作用ガ十分ニ營メナイ、斯様ナ憾
ガアルノニ鑑ミマシテ、今回此ノ戰時金融

庫等ノ昂騰時ニ於ケル賣買操作ヲ更ニ有效ナラシメル爲ニ、豫メ株式ヲ充實サセテ置カウ、斯様ナ趣旨カラ、適當ニ必要トスル株式ヲ多量ニ所有スル者ニ對シテ命令ヲ出シテ、戰時金融庫其ノ他ニ讓渡セシメヨウト云フノデアリマス、本條ニ依リマシテ命令ノ定ムル者ニ對シ讓渡命令ヲ出スノデアリマスガ、此ノ命令ノ定ムル者ハ、茲ニアリマス金融機關等ニハ勿論出シマスシ、其ノ他命令ノ定ムル者ト致シマシテ、一定ノ株數ヲ限ッテ相當澤山株式ヲ所有シテ居ル者、或ハ特ニ必要トスル株……特定ノ銘柄ヲ相當數以上所有シテ居ル者ト云フヤウナ者ニ對シテ、此ノ命令ヲ出シ得ルヤウニ規定ヲ致シタイト存ズル次第デアリマス、尙是ハ命令ノ定ムル所ニ依ッテ讓渡命令ヲ出スノデアリマスガ、其ノ命令ノ内容ト致シマシテハ、茲ニ「時價ヲ以テ讓渡スベキコトヲ命ズルコトヲ得」トアリマスガ、時價ト申シマシテモ、取引所ノ相場アルモノモアリマスシ、サウデナイモノモアルト云ツタヤウナコトモアリマスノデ、取引所ノ相場アルモノニ付テハ其ノ相場ニ依ルシ、又相場ナキモノニ付テハ實物仲值ヲ基準トシテ定メルト云フヤウナコトヲ規定致シタイト存ジマス、又命令ハ致シマシタガ、命令ヲ受ケタ者ニ於テ其ノ株ハドウシテモ手離シテハ工合ガ惡イ、例ヘバ一定ノ株數ヲ所有スルコトニ依ッテ或ル企業體ヲ支配シテ居ル、ソレヲ命令ヲ受ケテ譲リ渡セバ、其ノ企業ノ支配權、經營權ト云フモノガ無クナルト云フヤウナ支障ノアリマス際ニハ、此ノ命令ハ出サナイ、命令ヲ受ケマシテモ讓渡シナイデ宜イト云フコトニ致シタイト存ジマシテ、サウ云フ規定ヲ命令デ規定致

シタイト存ジテ居ル次第デアリマス
○委員長(伯爵橋本實斐君) 只今ノ説明ニ付テ御質疑ハゴザイマセヌカ——サウ致シマス此ノ臨時資金調整法中改正法律案ニ付キマシテハ一應御質疑ハゴザイマセヌカ——ソレデハ御異議ガナケレバ、其ノ次ノ普通銀行等ノ貯蓄銀行業務又ハ信託業務ノ兼營等ニ關スル法律案ニ移リマス
○米原章三君 本案ニ付キマシテハ先日來委員各位ノ質疑ト當局ノ説明デ大體諒承致シマシタガ、私ハ今一應御尋シテ見タイト思ヒマス、戰時ニ於ケル金融政策上ノ施設ノ強化ヲ必要トシテ、殊ニ國民貯蓄ノ増強ヲ確保セントスル構想カラ本法案ガ提出セラレタルコトハ、先日次官ノ説明ニ依リマシテ承知致シマシタガ、私ハ我國ノ貯蓄銀行ノ發達ニハ既往ヲ追懷シ、長イ歴史ト其ノ傳統ヲ有シテ時局下重要ナル貯蓄報國ノ職域ニ精進シツ、アル此ノ際、突如トシテ今同貯蓄銀行及ビ信託業務ノ特殊性ヲ其ノ儘普通銀行ニ委譲セラル、ノ法案ニ接シマシテ、金融界ニ取リマシテハ極メテ畫期的ノ法案ノヤウニ承知致シマス、就キマシテ茲ニ二三ノ質疑ト希望ヲ申上ゲマシテ御意見ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス、第一ハ、斯カル重要ナ法案ヲ提出サレルニ當リマシテハ、政府ハ金融統制會乃至民間金融界ノソレゾレノ機關ニ諮問シテ其ノ意見ヲ徵セラレタコトガアリマスカドウカ、第二ハ、金融統制上ノ見透シトシテ、政府ハ近キ將來ニ於テ金融機關ノ國營即チ銀行國營ノ如キ御考ヲ持ッテキラッシャルカドウカ、第三ハ、現存ノ貯蓄銀行當業者ハ、明治、大正、昭和ヲ通ジテ貯蓄報國ノ信念ノ下ニ民間ノ零細ナル貯金ヲ吸收シ、其ノ使命ヲ果シツ、

アルデアリマス、然ルニ本法案ガ成立シテ施行セラレマスルヤ、其ノ特殊性ヲ失ヒマシテ、大都市ノ貯蓄銀行以外ハ普通銀行ニ吸收合併サレル運命ト察シマス、否、ソレガ御當局ノ方針ノヤウニモ推察サレルノデアリマス、就キマシテ大藏省ハ、現在ノ貯蓄銀行經營者ノ貴キ經驗ト其ノ努力乃至創意、工夫ニ對シテ、何等カ御考ニナッテ居ル點ガアルデセウカ、第四ハ、全國六十有餘行ニ過ギマセヌ貯蓄銀行ニシテ、而モ其ノ保有スル貯蓄金額ハ七十五億圓ノ巨額ニ達シテ居ルコトヲ承知致シマシテ、私共ハ全國ノ貯蓄銀行業者ニ敬意ヲ表スル次第デアリマス、サウシテ政府當局ハ何故ニ本案ト同時ニ、貯蓄銀行ニ普通銀行ノ業務ヲ兼營セシムルノ法案ヲ提出セラレナイノデアリマセウカ、即チ貯蓄銀行ニ普通銀行ノ業務ヲ兼營セシムルノ御意向ハアリマセヌカドウカ、第五ハ、昭和二三三年頃ノ所謂銀行界ノ恐慌時代ヲ契機ト致シマシテ、大藏省ノ指導ト協力ノ下ニ全國大小銀行ノ合併ハ徹底底底ニ實現サレマシテ、今日ノ銀行ハ大藏省ノ監督ト其ノ規正ノ下ニ堅實ナル經營ヲ爲シツ、アルコトハ先日銀行局長ノ仰セテ通りデアリマス、私ハ銀行ノ合併モ餘リニ大藏省ノ藥ガ效キ、過ギテ居ルデアリマセヌカ、大都市ハ別ト致シマシテ、地方ニ依リマシテハ一縣一行主義ノ爲ニ當事者ノ獨善ト獨占ノ意慾ニ禍ヒセラレテ、地方ノ産業會社、殊ニ現下ノ喫緊ナル生産増強ニ寄與セザルノ憾ミナキヤヲ憂ヘルモノデアリマス、勿論決戰下ノ現段階ニ於キマシテハ貯蓄第一主義デアリマスルカラ、茲ニハ餘リ多クヲ申上ゲルコトヲ差控ヘマスルガ、大藏省當局ニ於カセラレテハ、地方銀行ノ

使命ヲ積極的ニ昂揚セシメ、所謂戰時下生産力増強ノ爲ニ、最善ナル對策ヲ講ゼラレムコトヲ此ノ機會ニ特ニ希望シテ置キマス、若シ夫レ政府ガ銀行國營ヲ企圖シテ居ナイトスルナラバ、地方ニ依リテハ一縣一行主義ノ獨占形態ヨリモ、大都市ノ支店銀行ヲ設置セシメル必要ヲ認メラレカドウカ、更ニ又甚ダシキハ一縣一行ノ本店銀行モナキ縣ガアルノデアリマス、統制經濟ハ行政區域ヲ單位トシテ地方長官ニ強力ナル法制上ノ指導力ヲ付與セラレテ居リマスル以上ハ、一行政區域ニハ尠クモ一行以上ノ本店銀行ヲ設置セシメラレコトガ、地方産業ノ開發ハ固ヨリ、貯蓄吸收ノ點ヨリ見マシテモ、其ノ縣民ノ微妙ナル心理ヲ善用スルコトニナルノデアアルマイカ、此ノ點ニ付キマシテ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、最後ニ先日來銀行局長ノ御意見デハ、現在ノ貯蓄銀行ヤ信託銀行ハ強制的ニ普通銀行ニ合併セシムル意思ハナイガ、經營宜シク、内容充實シテ居ルモノハ其ノ儘營業セシメテ、益貯蓄報國ニ邁進セシムルト云フ御意見ノヤウニ承リマシタガ、左様承知シテ置ケバ宜シウゴザイマス、且又所謂兼營銀行ト專業貯蓄銀行トノ業務上ノ相違セル點ヲ本法案ニ付テ指摘シテ御知セ戴イタラ幸甚ト思フノデアリマス、
以上ノ諸點ニ付テ御質問申上ゲマシテ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス
○政府委員(谷口恒二君) 只今ノ御質問ニ對シマシテ大體御答ヘ申上ゲタイト思フノデアリマス、今回斯ウ云フ法制ヲ提案スルコトニ相成ツタノデアリマスルガ、貯蓄銀行ヲ主トシテ考ヘテ見マスルト云フト、我が國銀行界ニアリマシテ、多年國民貯蓄ノ蓄

積ト云フ方面ニハ多大ノ效果ヲ舉ゲラレテ
居ルソデアリマシテ、貯蓄銀行ニ關スル法
制ヲ新タニスルニ付キマシテモ、當局ト致
シマシテハ貯蓄銀行ノ從來ノ功績、其ノ國
民經濟ニ寄與サレタル所ノ業績ニ付キマシ
テハ十分敬意ヲ拂ヒマシテ、其ノ事ヲ篤ト
考ヘタ上デ斯クノ如キコトニ取リ運シダヤ
ウナ次第デアリマス、本案ヲ提出スルニ付
キマシテハ色々考究シマシテ慎重ヲ期シ
タノデアリマス、金融統制會其ノ他ノ
機關ニ對シマシテハ、當今ニ於キマシテハ
是等ノ機關ト當局トハ日常極メテ密接ナル
關係ヲ結ンデ居リマシテ、殆ト設立ノ當初
期待サレタガ如ク、所謂表裏一體ノ如キ關
係ヲ持ッテ居リマス、特ニ形式立チマ
シテ、之ニ對シマシテ諮問ヲスルトカ、之ニ對
シテ答申ヲ求メルト云フヤウナ關係ヲ取ル
ニハ至ラナカッタノデアリマス、其ノ以下
ノコトモ平生力能ク連絡致シテ居ルノデ
アリマシテ、是等ノ當面ノ狀況等モ能ク考
ヘマシタ上今回ノ提案ニ相成ッタヤウナ次
第デアリマス、銀行ニ關スル法制ニ付キマ
シテハ、近年議會ニ於キマシテ色々御協賛
ヲ得テ居ルノデアリマス、今回ノ議會ニ於
キマシテモ只今議題ニナツテ居リマス、法
律案、其ノ他ノモノヲ提案致シテ居ルノデ
アリマス、又昨年末カラ大銀行ノ合同等ガ
行ハレマシテ、色々ノ話ガ世間ニ傳ヘッテ
居ルカノ如クニモ察セラレルノデアリマス
ガ、此ノ金融機關ヲ色々政府ノ統制ニ服
セシメテサウシテ其ノ統制ノ制度ヲ整備ス
ルト云フコトニ近年ズツト取運シデ參リマ
シタケレドモ、之ヲ國營ニ移スト云フ考ハ
全然ナイノデアリマス、揣摩應測若シサウ
云フコトガ傳フルコトガアルナラバ、是ハ

單ナル揣摩應測ニ過ギナイノデアリマシテ、
政府トシテハ、サウ云フ考ハ全然持ッテ居
ラナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、
ソレカラ尙色々御話ガアリマシタノデ後カ
ラ又銀行局長カラモ申上ゲルト思ヒマス
ガ、銀行ノ合併ノコトニ付キマシテモ御話
ガアリマシタ、此ノ問題ニ付キマシテハ、
一縣一行主義ナリヤ否必ズシモソレニ一縣
一行主義ニ拘泥スルモノデハナイ、能ク地
方ノ實情ニ合致シタル態度ヲ取リタイト云
フコトヲ當局ハ答ヘテ參リマシタ、今日ニ
於テモ變リハナイノデアリマシテ、一縣一
行ト云フコトヲ勵行致シマシテ、其處ニ無
用ナル摩擦ヲ生ゼシメ、無理ナコトヲ致シ
マシテ金融業ノ發達ヲ阻害シ國民貯蓄ニ妨
害ヲ與ヘルト云フヤウナコトハ、當局ト致
シマシテハ之ヲ致シマスル意思ハゴザイマ
セス、色々當該地方ノ狀況ニ應ジ、又當事
者間ニ於テ話ガ熟スルト云フコトヲ待ツノ
態度デアリマシテ、一縣一行ト云フヤウナ
杓子定規式ヲ建前ノ下ニ、無理ヲ敢行スル
ガ如キ意思ハ全クナイノデアリマス、ソレ
カラ銀行ノ合併ニ付キマシテハ、貯蓄銀行
ヲ此ノ提案ニ依リマシテ普通銀行ノ方ニ合
併サセテシマハウト云フヤウナ考ハ是全ク
ナイノデアリマス、貯蓄銀行業務ヲ普通銀
行ガ兼營スルト云フニ止マルノデアリマシ
テ、從來御話ノ中ニモアリマシタガ如ク、
我が國金融界ニ多大ノ貢獻ヲシタル貯蓄銀
行ヲシテ全然其ノ存立ヲ失ハシメルト云フ
ヤウナ態度ニ出ルヤウナ考ヘハ毛頭ナイノ
デアリマス、貯蓄銀行中ニハ或ハ其ノ業務
ノ關係カラ、從來緊密ナル取引關係ノアリ
マシタ普通銀行ニ合併スルコトヲ便トスル
モノガ將來生ズルカモ知レマセヌガ、其ノ

場合話ガウマク運シダ場合ニ於テハ、當局
ニ於テハソレニ賛成スルニ躊躇ハ致シマセ
ヌケレドモ、總テ貯蓄銀行ヲ普通銀行ニ
一緒ニシテシマハウト云フヤウナコトハ全
ク致サナイ考デアリマシテ、貯蓄銀行ノ
中ニハ長キ傳統ヲ有シ、長キ經驗ヲ有シテ
居ルモノガ多クアルノデアリマス、ソレ等
ノモノハ本法案ガ假ニ實行サレタ後ニ於キ
マシテモ、矢張り從來ト變ハラザル堅實ナ
營業ヲ營ミ、又立派ニ金融界ニ活動シテ行
クト云フコトハ、是ハ勿論デアリマシテ、
本法案ニ依リマシテ貯蓄銀行ヲナクサセル
ト云フヤウナ考ハ全クナイト云フコトヲ
明言申上ゲテ置キタイノデアリマス、尙項
目ニ分チマシテ御尋ニナリマシタ點ニ付キ
マシテハ、申シ漏ラシマシタ點ガ二、三點ア
ルカト思フノデアリマス、他ノ政府委員
カラ其ノコトハ御答ヘ致シタイと思ヒマス
○政府委員(山際正道君) 私カラ技術的ノ
問題二、三ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲタイ
と思ヒマス、先ヅ第一、現在ノ貯蓄銀行經
營者ガ多年ニ互ツテ積ミ重ネテ參リマシタ
經驗ト努力、又ソレカラ湧キ出ル所ノ創意
工夫ト云フモノヲ、今後假令兼營貯蓄銀行
ガ出來タニシテモ、尙ソレ等ノモノヲシテ
從前ト同様、益、其ノ機能ヲ發揮サセルヤウ
ニ仕向ケテ行ク用意ガアルカト云フ御尋ガ
アツタト思フノデアリマス、此ノ點ハ私共ト致
マシテモ、今回兼營ノ法律ヲ立案致シマス
際ニ最モ考慮ヲ拂ヒマシタ點デゴザイマス、
即チ此ノ法律ハ之ニ依リマシテ益、此ノ貯
蓄銀行ノ機能、全金融機構ノ上ニ強力ニ
發達セシメヨウト云フノガ其ノ趣旨デゴザ
イマス、從ヒマシテ其ノ貯蓄銀行ノ業務ヲ
從來專ラヤッテオイデニナリマシテ、其ノ經

驗ト努力ノ上ニ創意工夫ヲ生ミ出シテ居ラ
レル方ノ御努力ト云フモノハ今後ニ於テモ
益、之ヲ尊重シテ、全貯蓄銀行ノ業務ノ機能
ノ上ニ及ボシテ行キタイ、斯様ニ考ヘルノ
デアリマス、具體的ノ方法ト致シマシテハ、
專營ノ貯蓄銀行ヲ成績ノ非常ニ優秀ナル人
人ニ於キマシテハ、益、其ノ線ニ副ッテ御活
動ガ願ヘルヤウニ、出來ルダケノ保護助長
ヲ加ヘ、例ヘバ是ハ昨日モ申シマシタガ、
今回ノ法案ノ附則ニ於キマシテモ、貯蓄銀行
ノ力ヲ殖ヤシマスル爲ニ、資金ヲ運用致シマ
スル制限ヲ緩和致シテ居リマス、之ニ依リマ
シテモ、多少トモソレニ依ッテ力ガ附キマス
レバ、尙ソレ等ノ方ノ御努力ノ範圍ガ殖エ
ル譯デアリマス、又兼營ノ方面ニ於キマシ
テモ、金融統制會ノ働き等ニ依リマシテ一
部ノ方面ニ於テ最モ有效デアルト認メラレ
ル施設ニ付キマシテハ、之ヲ移シテ、他ノ銀行
ニ於テモ其ノ線ニ副ッテ十分活動ガ出來マ
スルヤウニ、常時其ノ全體ノ機關ガ緊密ナ
ル連絡ノ下ニ能率ヲ舉ゲテ行クヤウナ指導
ヲ致シタイ考デアリマス、又全體ノ貯蓄銀
行ノ問題ト致シマシテ、是モ先般申上ゲマ
シタガ、其ノ活動力ヲ培養スル意味ニ於キ
マシテ、成ルベク收益上ノ裕リヲ付ケル必
要ガアリマスカラ、從來例ヘバ貯蓄銀行ニ
對シマシテハ、十七年度ノ資金計畫ト致シ
マシテ、增加預金ノ七十五「パーセント」ハ
國債ト云フコトニ致シテ居リマシタガ、此
ノ割合ノ如キモ、今後ハ貯蓄銀行ノ收益力
ト睨ミ合セマシテ、公社債ノ組合セノ率ナ
ドヲ加減致シマシテ、十分貯蓄銀行ガ其ノ
活動力ヲ培養ガ出來ルヤウナ方法ヲ指導致
シタイ考デアリマス、ソレカラ次ニ政府ハ
何故ニ此ノ法案ヲ作ルニ當ッテ、貯蓄銀行ヲ

シテ普通銀行ノ業務ヲ兼ネサセルコトヲ考ヘナカッタカト云フ御尋ガアッタト存ジマス、此ノ點モ立案ニ當リマシテ相當慎重考究ヲ致シタ點デゴザイマス、普通銀行ノ特色ハ御承知ノ如ク、其ノ主タル機能ノ點ガ資金ノ融通、即チ産業其ノ他ニ關シマシテ相當ニ調査機能ヲ持チ、當時事業會社等ノ資金ノ出入リヲ取扱フコトヲ意味カラ、最モ事業界トノ接觸ガ緊密デアリマシテ、主トシテ資金ヲ融通シテ産業ヲ援ケルト云フ方面ニ特色ヲ持ッテ居ル銀行デアリマス、ソコデ全體ノ金融機構ノ現狀ヲ考ヘテ見マスルト、實ハ資金放出ノ機能ノ方面ハ、相當今日機構ガ整備致シテ居ルト思フノデゴザイマス、之ヲ徒ニ殖ヤシマスルコトハ、寧ろ資金融通ニ關スル競爭ヲ惹起シテ、要ラザル處ニ資金ノ廻ル虞レガアルト云フコトサヘモ豫想サレル現狀ニアルノデアリマシテ、融通力ノ方面ニ關スル機能ヲ増長スルコトハ差當リ左程必要ナコトデハナイ、寧ろ今日ハ此ノ資金吸收部面ニ對スル機能ヲ極力増加スルコトデナクテハナラス、斯様な著眼カラ致シマシテ、此ノ際、貯蓄銀行ノ方ニ普通銀行業務ヲ兼ネサセマスルコトハ、左様ナ意味合ニ於キマシテ、其ノ必要性ガ比較的乏シト考ヘマシタ點ガ一ツ、ソレカラ左様ナ普通銀行ノ特色カラ致シマシテ、事業會社等ニ資金ヲ融通致シマスルトナリマスルト、是ハ從事致シマスル人々ノ性質、素質ノ問題、或ハ其ノ銀行ノ機構ノ問題等カラ考ヘマシテ、容易ニソチラノ方ニ轉換ヲスルト云フコトガ困難ナ場合ガ少ナクナイト思フノデゴザイマス、從ヒマシテ貯蓄業務ヲ普通銀行ニ兼ネサセルコトハ容易デアルケレドモ、直チニ普通銀行ノ

ヤツテ居リマスル仕事ヲ貯蓄銀行ニ向ケルト云フコトハ必ズシモ實情ニ副ハナイ、斯様ナ理由モアルト存ズルノデアリマス、是等ノ觀點カラ致シマシテ、本法案トハ逆ノコトガ、即チ普通銀行業務ヲ貯蓄銀行ニ兼ネサセルト云フコトハ現在ノ段階ニ於テハ其ノ必要ガナカラウト云フ結論ニ達シタ次第デアリマス、ソレカラ大都市ノ大銀行ノ支店ヲ地方ニ設ケルコトガ必要デアルカドウカト云フ御尋ガアツタト考ヘマス、之ニ對シマシテハ、從來ヤツテ參リマシタ方針ハ、大銀行ハ全國ニ其ノ支店網ヲ張りマシテ、其ノ大企業、大企業ヲ相手トシテ資金ノ疏通ニ任ジテ參ッテ居ルノデアリマス、漸次地方ニモ大規模ノ産業ガ勃興スルニ連レマシテ、主要ナル都市ニハ大銀行ノ支店モ必要デアラウト思フノデアリマス、從ヒマシテ必要ノ程度ニ依リマシテハ漸次其ノ支店モ認メテ參ッテ居ルノデアリマス、併シナガラ他面又考ヘナケレバナラスコトハ、只今御指摘ノ如ク地方ニハ地方銀行ガ存在致シマスルシ、又其ノ他ノ金融機關モ地方的ニ存在致シテ居ルノデアリマス、之ガ大銀行ノ支店ヲ設置致シマシタ場合ニ於テ、其ノ資金ノ吸收ノ部面、或ハ資金融通ノ部面ニ於テ如何ナル狀態ヲ現出スルカ、徒ニ競走ガ惹起シテモソレハ望マシイコトデハナイ、又大銀行支店ノ故ニ地方ノ銀行等ガ壓迫ヲ蒙ッテ十分ノ機能ノ發揮ガ出來ナイト云フコトハ避クベキ事柄デアラウト思フノデアリマス、此ノ意味ヲ以チマシテ、支店ヲ地方ニ設置致サセマスル場合ニ於テハ篤ト其ノ地ノ狀況ヲ勘案致シマシテ、サウ矢鱈ニ大銀行ノ支店ヲ地方ニ認メルト云フコトモ致シテハ居ナイノデアリマス、即チ

一面ニ於テ産業ノ規模ニ應ジ、金融ノ疏通ニ遺憾ナキヲ期スルト同時ニ、地方ノ金融機關ノ育成ノ見地カラ適宜支店ノ設置ヲ認メテ居ルヤウナ實情デアリマス、ソレカラ現在縣ニ依ッテハ本店銀行ノナイモノガアリ、是等ノ地方ニ於テ少クモ本店銀行ヲ置クコトガ地方經濟ノ運営上安當デハナカラウカト云フオ話ガアツタノデアリマス、極ク稀ナ例デハゴザイマスガ、オ話ノ如キ縣ハアルノデゴザイマス、是等ノ沿革ヲ考ヘテ見マスルト、地方ノ産業モ漸次其ノ規模ガ擴大致サレテ參リマス、又信用補強資金吸收力ノ増大、或ハ有能ナル職員ヲ招致スルト云フヤウナ觀點カラ、地方ノ銀行モ亦時勢ノ移リ變リト共ニ漸次大規模ノモノトナラザルヲ得ナイ勢ヒニアリマシテ、左様ナ狀態ガ今日現出サレテ參ッタノデゴザイマス、オ話ノ如ク今日相當ノ經濟行政ガ、府縣ヲ單位トシテ行ハレテ居ルコトハ、其ノ通りデアリマシテ、此ノ意味カラ申シマフコトモ一應考ヘラレルコトデアリマスケレドモ、一面ニ於テ、經濟行政サヘモ所謂府縣「ブロック」ヲ打破シテ、モット大キナ單位ニ於テ彼此融通ヲスルノデナケレバ、今日ノ經濟ハ全體トシテナカ／＼ウマク運営シテ行カスト云フ事情モアルノデゴザイマス、其ノ意味カラ申シマスルト、現在本店銀行ガゴザイマセス縣ニ、直チニ元／＼戻ッテ本店銀行ヲ設ケルノガ宜イカ惡イカト云フコトハ、餘程ハ考究ヲ要スル所デアラウト思フノデアリマス、ソレヨリモ具體的ニ現在左様ナ縣ニ付キマシテハ、能ク其ノ銀行ノヤツテ居リマスル狀況ヲ調査致シマシテ、果シテ此ノ本店ナキガ故ニ其ノ縣ニ

非常ナ金融上ノ不便ヲ與ヘテ居ルト云フヤウナコトガアリマスルナラバ、ソレハ最も適當デナイコトデアリマスルカラ、直チニ銀行ヲシテ其ノ態度ヲ改メサセ、又其ノ從事致シテ居リマスル役員ナリ、職員ナリノ方面ニ於テ其ノ縣ノ事情ニ精通シテ居ル者モソレニ差加ヘ、更ニ要處々々ニハ店舗ノ數ヲ増設スルト云ツタヤウナ實際ノ方法ニ依ッテ解決スルノガ、寧ろ今日ノ實情ニ適當シタ方法デハナカラウカト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ最後ニ御尋ノゴザイマシタ兼營ノ貯蓄銀行ト、專業ノ貯蓄銀行トノ間ニ業務上何カ差別ヲ設ケルカ、設ケルトスレバドノ程度ノ差別ヲ考ヘテ居ルカト云フ御話デゴザイマス、是ハ大都市ト地方トニ依ッテモ自ラ程度ガ違フカト考ヘテ居リマス、大都市ニ於キマシテハ只今ノ所デハ、所謂定期積金ナル仕事ハ、假ニ大銀行ガ貯蓄銀行業務ヲ兼營致シマシタ場合デモ、之ニハ許サナイ考デアリマス、即チ如何ニ普通銀行ガ貯蓄銀行業務ヲ直チニコナシ得ル能力ガアルト申シマシテモ、定期積金ノ如キモノハ、是ハ專門ノ貯蓄銀行ヲシテ扱ハシムルノガ安當デアラウト考ヘマスルカラ、是ハヤササナイ考デアリマス、又預入レマスル其ノ貯金ノ利率ノ率ニ付キマシテモ、具體的ニハマダハッキリ申上ゲ兼ネマスルケレドモ、多少ノ差等ヲ設ケマシテ、兼營ノ場合ノ方ヲ幾ラカ低クサルト云フノガ此ノ際ニ於テハ安當ナ措置デハナカラウカ、或ハ又貯金ヲ扱ヒマスルニ付キマシテモ、今日專業ノ貯蓄銀行ニ於キマシテハ、其ノ預金者ガ法人デアルト個人デアルトノ別ヲ立テテ居リマセスケレドモ、貯蓄增強ノ趣旨カラ申シマスルナラバ、兼營業

務ヲ認メルヤウナ場合ニハ、個人ノ貯金ヲ專ラ扱ハセルト云フノモノツノ方法デハナカラウカト考ヘテ居リマス、其ノ他定期積金ト云フ仕事モゴザイマスルガ、是ナドモ現在ノ專門ノ貯蓄銀行デハ格別ヤカマシイ制限ヲ致シテ居リマセヌガ、兼營ノ場合ニ於キマシテハ多少其ノ型ヲ一定致シマシテ、一種類ニ致シマスルカ、數種類ニ致シマスルカハマダ決定致シテハ居リマセヌガ、ソコニ專業ノモノトハ稍々趣ヲ異ニシタ範圍ニ於テ仕事ヲサセルノガ適當デハナカラウカ、ソレハ法律ニゴザイマス業務ノ種類及方法ヲ定メテ認可ヲ受ケルト云フコトニナツテ居リマスルノデ、其ノ種類及方法ヲ定メマスル場合ニ於テ適當ニ按配致シタイト考ヘテ居リマス、尙今大都會ノ問題ニ付テ申上ゲマシタガ、地方ノ銀行ニ付キマシテハ是ハ、大都會ニ於ケル方トハ兩者ノ間ニ著シイ差別ヲ設ケル必要モナイカトハ思ヒマスルガ、併シ矢張り實情ニ合ヒマスル程度ニ於テ兼營ノ場合ト專營ノ場合トハ金利ノ問題、ソレカラ型ノ問題ナドニ於キマシテ實情ニ適シタ差別ヲ設ケルコトガ適當デハナカラウカト考ヘテ居リマス

○米原章三君 次官始メ局長カラ御懇切ニ御説明ヲ戴キマシテ、大體了承致シマシタガ、私ノ考ヘ方デハ此ノ法案ガ實施セラレマス、ドウモ貯蓄銀行ノ特殊性ト云フモノハ全然ナクナツテ、結局地方ノ貯蓄銀行ハ晩カレ早カレ、普通銀行ニ吸收合併サレル運命ニアルンデハナイカ、斯ウ考ヘル、今局長カラ御説明ニナリマシタ利子ノ點、或ハ定期積立ト云フヤウナ點ニ多少ノ御考慮ハアルヤウデハアリマスルガ、ドウモ結局從來保護サレタ特殊性ガナクナル、將來ハ

ドウシテモ是ハ合併ノ運命ニアル、寧ロ當局ハサウナナル御考デハナイカトモ思ハレル此ノ點ヲ重ネテモウ一度御意見ヲ……

○政府委員(谷口恒二君) 地方ニ於ケル貯蓄銀行ノ地位ニ付キマシテ段々御心配デアリマスガ、從來ノ貯蓄銀行ノ今後ノ地位ニ付キマシテハ、先程銀行局長カラ申シマシタヤウニ、十分出來ルダケノ配慮ヲ致シタイト思フノデアリマシテ、多年其處ニアリマス所ノ貯蓄銀行ヲ、地方ノ貯蓄銀行ノ根柢ヲ搖ブルヤウナコトヲ進ンデ致ス考ハ毛頭ナイノデアリマス、先程モ申シマシタヤウニ、色々ノ營業關係其ノ他カラ、普通銀行ニ合併ニ相成リマスヤウナ情勢ガマア出ルカモ知レナイデアリマシテ、ソレハ其ノコトガ穩カニ進ミマシタ場合ニ於キマシテハ、之ヲ妨ゲルコトハ致シマセヌケレドモ、此ノ法案ガ實行セラレルコトニナリマシテモ、地方ノ貯蓄銀行ヲ普通銀行ニ合併シナケレバナラナイヤウナ初目ニ陷レルヤウナコトハ、當局トシテ之ヲ致ス考ハゴザイマセヌ、出來ルダケ從來ノ營業ノ狀況ヲ尊重致シマシテ、普通銀行トノ間ニ於キマシテモ、普通銀行ト別ニ特色ヲ持チ續ケルコトノ出來マスルヤウニ、出來ルダケノ配慮ヲ致サウト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、重ネテ此ノ法案ニ依リマシテ、地方ノ貯蓄銀行ヲシテドウシテモ普通銀行ト一緒ニナラナケレバナラヌヤウニ仕向ケルヤウナ考ハナイト云フコトヲ申上ゲテ置キタイノデアリマス

○米原章三君 今一ツ御尋ネ致シマスガ、貯蓄銀行ノ營業ノ行キ方ト致シマシテハ、從來小切手ノ取引、爲替ノ取引等ガ全然其ノ性質カラ許サレテ居ナイ、又或ハソレガ本

體カト私ハ考ヘテ居リマスルガ、此ノ金融ノ閑散ニナリマスニ連レマシテ貯蓄銀行ニ小切手制度、爲替、送金爲替ノ取組ト云フヤウナコトヲ御認メニナル御意思ハアリマセヌカ

○政府委員(山際正道君) 先般來申上ゲマシタ通り現在最モ必要ヲ感ジテ居リマスノハ、資金ヲ吸收スル機構ヲ全國的ニ擴充シタイト云フ考ヘ方デゴザイマス、吸收サレマシタ資金ヲ運用シマスル方ノ機構ハ、現在ノ事態ニ於キマシテハ、一應現狀デ備ツテ居ルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、貯蓄銀行ヲシテ其ノ機能發揮ノ力ヲ附ケマスル意味ニ於キマシテ、只今申上ゲマシタ附則ニ依ル貯蓄銀行法ノ改正ノ程度ノコトハ、此ノ際必要デアラウト考ヘテ居リマスケレドモ、更ニソレ以上ニ互ツテ爲替業務ヲ扱フ、或ハ當座取引ヲスルト云フコトハ現狀トシテハマダソコ迄考ヘナクテ宜シイノデハナイカト云フ結論ヲ得マシテ、此ノ法案ヲ立案致シマシタ次第デアリマス

○男爵明石元長君 此ノ問題ニ付キマシテハ、只今米原委員カラ御尋ガゴザイマシテ、非常ニ重複スルヤウデハゴザイマスケレドモ、私ハ貯蓄銀行ノコトハ能ク分リマセヌケレドモ、信託業務ヲ兼營サセルト云フコトニ付テハ隨分無理ガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、ソレデ色々御話ヲ伺ヒマシタケレドモ、多少重複スルヤウナ關係ニアルノデスガ、一應伺ツテ見タイト思ヒマス、ソレデ當局ハ信託業其ノモノ、重要性ト云フコトハ十分認メテ居ラレルト云フコトハ、前カラノ御言明ニ依ツテ分ルノデアリマスガ、其ノ意味ハドウ云フコトデアルカト考ヘテ見マス、我が國ノ信託業ト云フモノハ兎角

唯長期ノ固定スル資金ヲ受ケル、言ヒ換ヘテ見レバ、金錢信託ノ面ガ跛行的ニ發達シテ來テ居ルト云フコトハ十分言ヘルト思フノデアリマス、併シナガラ信託業其ノモノノ本質ト致シマシテハ、斯ウ云フ金融機關ノ方面デナクテ、例ヘバ不動産ノ管理トカ、會計檢査トカ、或ハ遺言ノ執行トカ、サウ言ツタヤウナ管理信託ト申シマスガ、廣ク財産ノ管理機關デアルト云フ性質ノ方ガ本來ノモノデハナイカト思フノデアリマス、處ガ斯ウ云フ方面ハ餘リニ利益モ少イ複雑ナ仕事デアリマスカラ、其ノ培養源トシテ金錢信託ノ方ガ殖エテ行ツタト云フヤウナ關係ニアルノデハナイカト思ヒマス、ソコデ此ノ信託事業モ本來ノ目的ト云フモノヲ重視シテ考ヘテ見マス、今後ノ時局ニ於キマシテモ昨日米山委員モ言ハレマシタヤウニ、或ハ敵産ノ管理デアルトカ、遺家族ノ資金ノ信託デアルトカ、サウ云フ方面ニ向ツテ進ムベキ途ガ多アルト考ヘルノデアリマス、當局モサウ云フ意味ニ於テ信託業ノ重要性ヲ認メラレテ居ルト考ヘルノデアリマス、デスウシタ方面ヲ重視シテ考ヘテ見マス、私ハ理論上信託業ト云フモノハ濫リニ銀行業ニ兼營セシムベキデハナイ、寧ロ專業デナケレバイケナイト云フヤウニ考ヘルノデアリマス、是ハ信託業法ノ何條カラ見マシテモ明カニサウナツテ居ルノデアリマス、其ノ點ハ詳シク申上ゲマセヌケレドモ、昨日ノ當局ノ御答辯ニ依リマシテモ、此ノ點ハ十分御考慮ニナツテ居ラレル、詰リ濫リニ兼營ヲ認メル譯デハナイト云フヤウナ御言明ガアツタヤウニ思フノデアリマス、併シサウ致シマスルト、本法ニ於テ普通銀行ニ信託業ノ兼營ヲ認メル、ソレハ

國民貯蓄ノ増強ガ目的デア、斯ウ云フ意味ガドウモ曖昧ニナツテ來ルノデハナイカト思ハレルノデアリマス、詰リ國民貯蓄ノ増強ト云フ觀點カラスレバ、成ルベク多ク兼營ヲ認メサセナケレバナラス、併シ信託業本來ノ性質ヲ考ヘルトサウ無闇ニ兼營サセル譯ニハ行カナイ、斯ウ云フヤウナ矛盾ニナツテ、詰リ此處ニ嚮テ居ラレル國民貯蓄ノ増強ニハ役ニハ立タナイノデハナイカ、サウシテ信託業本來ノ目的ガ見失ハレテ來ルト云フ弊害ト申シマス、サウ云フ方面ガ大キイノデハナイカト考ヘラレルノデアリマス、デ度々御話ガゴザイマシタケレドモ、ドウモ私ニハサウ云フ風ニ考ヘラレマスノデ、モウ一度其ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、ソレカラ兎ニ角兼營ヲ認メルトシマシテモ、專業ノ方モ十分ニ之ヲ育成助長シテ行ク必要ガアルノデハナイカト考ヘマス、此ノ點ハ度々矢張り御言明ガアリマシテ、只今モ御話ガアリマシタガ、之ヲ少シ具體的ニ、ドウ云フ意味デ育成助長シテ行クノカト云フコトモ承リタイト思フノデアリマス、本案ノ第五條ニ「普通銀行ニ對シ當該業務ノ種類若ハ方法ヲ制限シ又ハ其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得」ト云フノゴザイマスガ、斯ウ云フ點ニ於テ何等カサウ云フ點ヲ考慮シテ居ラレルノデアルカ、伺ッテ見タイト思ヒマス

○政府委員(山際正道君) 本法案ニ於キマシテ、普通銀行等ヲシテ信託業務ノ取扱ヲ認メマス所以ノモノハ、只今御話ノ如ク貯蓄増強ヲ重要ナル理由ト致シテ居リマスコトハ、段々申上ゲマシタ通りデアリマシタルガ、同時ニ併セテ本來ノ信託ヲ活カスト云フコトモ、亦此ノ兼營ノ法律ニ於テ特ニ

重要視致シタ點ナノデゴザイマス、デ御懸念ノ點ハ若シ普通銀行等ニ信託業務ノ兼營ヲ認メルト、本來ノ固有ノ意味ニ於ケル信託ト云フモノガ、伸ビルヨリモ寧ろ衰ヘハセヌカト云フ御懸念デアラウト思フノデアリマス、成ル程信託ノ本旨ハ、財産ノ管理ヲ致スト云フ點ガ其ノ特色ニ相成ツテ居ルノデアリマシタルガ、私共ノ考ト致シマシテハ、國民ノ爲ニ金融機關ガ財産ヲ預リマシテ、能ク國家ノ目的ニ副ヒツ、其ノ附託ニ任ズルト云フコトハ當ニ信託會社バカリデナク、今後ハ銀行其ノ他ノ金融機關モ益、其ノ色彩ヲ強クセネバナラスト考ヘテ居ルノデゴザイマス、先般來御話ノゴザイマシタ銀行ヲシテ、納税者ノ爲ニ税金ヲ簡易ニ取扱ハシムルト云フヤウナ施設、ソレカラ先、程臨時資金調整法ノ改正ニ於キマシテ、證券ノ疏通、賣買ノ爲ニ金融機關ガ相當ノ働キヲスルト云フヤウナ點、是等モ總テ其ノ考ヘ方カラ致シマシテ、單ニ金ヲ預リ、金ヲ貸スト云フコト以外ニ、銀行等ガ漸次國民ノ財産ヲ管理スルト云ツタヤウナ心構ヘヲ必要トスル方面ヘ仕事ガ伸ビツ、アルコトヲ示スモノデハナイカト思フノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ信託業務ヲ普通銀行等ニ兼ネサセマシテモ、其ノ普通銀行ノ選定ヲ誤リマセヌ限リニ於キマシテハ、信託業務ハ全體トシテ益、伸ビル結果ニナルコトヲ信ジテ居ルノデゴザイマス、從來ノ信託業務ハ先般モ申上ゲマシタガ、稍、大口ノ財産家ノ利用ニ偏スル嫌ヒガアリマシテ、時局下要請サレテ居リマスル遺家族ニ關スル財産管理ノ問題デアルトカ、其ノ他育英信託ノ問題デアルトカ、所謂大眾ヲ相手トスル方ノ機能モ、今後益、信託業務ノ上ニ要求サレテ居ル場

面デアルト思フノデアリマス、此ノ爲ニハ信託業務ヲ取扱ヒマスル機關、取扱ヒマス店ヲ成ルベク殖シマシテ、國民ノ左様ナ廣イ需要ニ應ズルヤウニ致シタイノガ私共ノ根本ノ考デアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ、此ノ法案ニ依リマシテ信託業務ヲ普通銀行等ニ兼ネサセルコトニ致シタノデアリマスルガ、普通銀行等ニ於キマシテハ他ノ金融機關ニ較ベマスルナラバ、從事員ノ能力ノ問題、店舗ノ配置ノ問題等カラ考ヘマシテ、此ノ勞務、資材關係ノ窮屈ナ時局下ニ於キマシテモ、比較的簡單ニ所期ノ目的ガ達成出來ルノデハナイカト考ヘテ居ルノデゴザイマス、然ラバ普通銀行等ニ信託業務ヲ認メタ場合ニ於テ、專業ノ方ガ立チ行カクナルノデハナイカト云フ御懸念ガ一部ニアラウカト思フノデアリマスガ、是ハ今日信託會社ノ業務自體ハ漸次發展ノ過程ヲ辿ツテ居リマスシ、又全體ノ法案ノ趣旨ガ信託業務自體ヲ益、發達サセヨウト云フ態勢ニアルノデアリマスカラシテ、此ノ兼營ヲ認メマスガ故ニ、直チニ專業ノモノガ其ノ影響ヲ受ケルコトハナイモノト考ヘテ居ルノデアリマス、即チ新タナル信託ノ需要ガナイニ拘ラズ、徒ニ門戸バカリヲ多ク致シマスルナラバ、是ハ御想像ノ如ク既設信託會社ノ仕事ガ其ノ方ニ喰ハレテシマフト云フヤウナ結果ニナリマスルケレドモ、左様ナ行キ方ヲ取リマセヌデ益、増加シ、又利用者ガ殖エルニ應ジマシテ信託業務ヲ取扱フコトノ範圍ヲ擴張シテ行キタイ考ヘ方デアリマスカラ、左様ナ趣旨ニ於テ運用致シマスレバ、御懸念ノ如キ事態ハ生ゼズシテ過シ得ルノデハナイカト思フノデアリマス、然ラバ信託業務ヲ專業ト致シテ居ルモノヲ如

何ナル方法ニ於テ今後益、助長シテ行クカ、或ハ第五條ノ第二項デ業務ノ種類若シクハ方法ヲ制限スル規定ノ適用トシテ、何カ保護助長ノ策ヲ講ズルカト云フ御尋デアリマスガ、第五條第二項ノ方ハ、左様ナコトハ直接此ノ法案ノ内容トハ考ヘテ居ナイノデアリマス、第五條ノ規定ノ方ハ、寧ろ其ノ兼營ヲ致シマス銀行ノ能力ニ應ジマシテ、ドノ程度ノ業務範圍ヲ入レルノガ適當デアラウカ、其ノ考慮カラ此ノ規定ヲ設ケテ居ルノデアリマス、然ラバ單ニ如何ナル方法ニ於テ信託業務ノ發達ヲ助長サセルカ、直接是ハ今回ノ立法ニ於キマシテ法文上ノ改正ハ行ツテ居リマセヌガ、例ヘバ御承知ノ如ク現在ノ信託會社ハ、其ノ立法ノ當初ニ於キマシテ、銀行業務トノ競合ヲ避ケマスルガ爲ニ、二年以上、五百圓以上ノ總額ヲ信託デナケレバ預ツテハナラスト云フヤウナ規定モアルノデアリマスカラ、此ノ制限ノ如キモノ今後ハ成ルベク大衆カラ資金ヲ吸收シ、又大衆ノ信託ノ要求ニ應ズルト云フ建前ニ於テ、左様ナ制限ハ緩和スルノガ適當デハナイカト云フノデ、實ハ考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、尙信託會社ノ取扱ヒマス資金ノ運用方法ハ、現在信託統制會ガ統制ヲ致シテ居リマスルガ、是モ其ノ投資物件等ノ選擇ヲ考慮致シマシテ、成ルベク信託會社ガ其ノ業務ヲ發展致シマスル力ヲ附ケ得ルヤウナ資金運用ノ方法ヲ考慮セシメタイ、現在ノ處デハ其ノ程度ノコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵明石元長君 只今御述ニナリマシタコトニ依ルト、決シテ信託本來ノ目的ヲ消滅サセルヤウナ行キ方ヲスルノデハナイ、寧ろ今後益、發達サセルヤウナ考ヲ以テ此ノ

法案ヲ作ツタノダト云フ御話デアリマスガ、私ノ言フ意味ハ、本來ノ性格ト云フ方面ガ、從來何カ非常ニ財産家ト申シマスカ、資本家的ト云フヤウナ色彩ヲ持ッテ居ルモノノヤウニ世間ニ印象サレテ居リマシタガ、ソレヲ一般大衆化シテ行キタイト云フ御考ニ付テハ至ク御同様ニ考ヘルノデアリマス、唯サウ云フ動キハ別ト致シマシテモ、此ノ普通銀行ニ信託業ヲ兼營サセマス場合ニハ、其ノ信託業ノ本來ノ業務ト云フモノハ先程申上ゲマシタヤウニ、極メテ複雑ナ、且利益ノナイモノデアリマス、金錢信託方面ハ或ハ力ヲ入レルカモ知レマセヌガ、事實上營利會社トシテハ餘リ興味ノ少イ斯ウ云フ方面ニ、普通銀行ガ力ヲ入レテ行クカドウカト云フコトニ付テハ私ハ多分ノ疑問ガアルト考ヘマス、併シ是ハ當局ニ於テハサウデナイト仰シヤルノデアリマスカラ、是以上申上ゲデモ仕方ガナイト考ヘマス、次ニ兼營ノモノハ之ヲ從來ノ儘、且今後モ益々發展スルヤウニ助長シテ参リタイ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、少シ具體的ナ問題ニナリマスルケレドモ、將來銀行ガ信託業ヲ兼營シタイ、斯ウ云フコトヲ申出テ來ルト思フノデアリマス、其ノ場合ニ、其ノ銀行ト同一資本系統ニ信託會社ガ既ニアッデ、サウシテ新シク信託業ヲ兼營ヲ認メテ貰ヒタイ、斯ウ云フ風ニ言ッテ來タ場合ニハ、ドウ云フ風ニ御扱ニナルノデアリマセウカ、ト申シマスノハ、現在ノ信託會社ト云フモノハ、大體ニ於テサウ云ツタ背景ヲ持ッテ居ルノデアリマス、デアリマスルカラ之ニ依ッテ兼營ヲシタイト云フ場合ニハ、ドウシテモ同一資本系統ノ專業ノモノヲ吸收シテ行クト云フ事實上ノ結果ニナッテ參ルノデアリマ

ス、サウスルト專業ノモノガナクナッテ、私ガ先程カラ色々繰返シテ申シテ居リマスヤウニ、一般信託業務ノ本來ノ性質ノ上ニ力ガ入ラヌヤウニナッテ行キハセヌカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ハドウ御考デアリマスカ

○政府委員(山際正道君) 今日ノ信託會社ガ其ノ實情ニ於キマシテ、普通銀行ト種々ナル關係ニ於テ非常ニ密接ヲ聯繫ヲ保ッテ居ルコトハ御話ノ通りデアルト思ヒマス、殊ニ地方ノ信託會社カ何カノ中ニ於キマシテハ、役員ノ系統モ資本系統モ同ジデアルト云フヤウナモノガ相當アリマス、又仕事ノヤリ振リガ謂ハバ親銀行ノ兼營の機能ヲ發揮スルヤウナモノモナイデハナイノデアリマス、併シナガラ他面ニ於キマシテ資本系統ガ同ジデアリマシテモ、銀行トハ相當趣ヲ異ニシテ、獨自ノ分野ヲ開拓シテ、而モ有力ナルモノガ相當アリマスコトハ是亦申ス迄モナイ事實デゴザイマス、ソコデ是等ノモノノ間ニ於キマシテ、此ノ親銀行ニ當ルモノガ信託業務ヲ兼營シタイト云フコトヲ申出タ場合ノコトデアリマスガ、是ハ必ズシモ一概ニハ申シ得ナイト思フノデアリマス、即チ只今申上ゲマシタ通り、此ノ信託會社トノ關係ガ種々ナル段階ガアリマシテ、其ノ段階ニ應ジ適當ナル又考ノ差ガ此處ニアル譯デアリマス、要ハ其ノ親銀行ガ信託業ヲヤリタイト申出テ參リマシタ時ニ、資本系統ヲ同ジクシテ居ッテモ、從來持ッテ居ル信託會社ノ營業分野ト違フ新ナル分野ヲ、ソレニ依ッテ開拓スルコトガ出來ルカドウカ、又果シテ其ノ信託業務ヲヤリ得ルヤウナ人ヲ備ヘテ居ルカ、ソレニ理解ガアル役員ガ居ルカ居ナイカ、ソレ等

ノ點ヲ仔細ニ檢討致シマセスト、信託會社ヲ子會社トシテ持ッテ居リマス普通銀行ノ兼營ノ問題ハ、ナカ／＼簡單ニハ解答ガ出來ナイノデハナイカト思フノデアリマス、殊ニ信託會社ト親銀行トノ關係ガ密接デアレバアル程、如何ナル意圖ニ於テ其ノ親銀行ガ自ラモ信託業ヲ兼營サレルカ、能ク其ノ事情ヲ調査勘案致シマシテ、是ハ隨分誠意アリ、又熱心ヲ持チ、信託業務ヲ扱フニ十分ナル信用ヲ備ヘテ居ッテ、而モ從來ト違フタ新ナル分野ニ相當進出スル可能性ガアルト認メラレマシタ場合ニハ、此ノ法案ノ趣旨ニ則リ、初メテ其ノ兼營ヲ認メテ行クト云フノガ當然ノ結論ニナルノデハナイカト思フノデアリマス、ソレ等ノ問題ハ要スルニ具體的ノ場合ニ付キマシテ、十分考慮スル必要ガアルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○男爵明石元長君 サウ致シマスト、今ノヤウナ場合ハ種々ノ事情ニ依ッテ考ヘテ行クベキデアッデ、具體的ナ事情ヲ能ク檢討シナケレバ分ラナイ、斯ウ云フヤウナ御話デアリマスガ、端的ニ申シマスルト、サウ云フタ場合ニ既ニ在ル所ノ信託會社ガソレ自體專業トシテ十分ナル資格ヲ備ヘタモノデアラナラバ、成ルベクソレヲ御殘シニナル方針デアリマセウカ、ソレトモ矢張りサウ云ツタ合併ヲ認メルト云フ御趣旨デアルカ

○政府委員(山際正道君) 其ノ問題ハ既ニ金融機關ノ合併ニ關スル一般ノ原則ニ依ッテ解決シタイト考ヘテ居リマス、即チ本當ニ當事者ガ其ノ必要ヲ認メ、其ノ合併ノ結果ハ從來ヨリモ全體トシテ機能ヲ増進スルト認メラレル場合ニハ、私ハ其ノ合併ハ認ムベキデアラウト思ヒマスガ、合併ノ結果ガ却テ其ノ本來ノ特殊性ヲ失フコトカ、却テ業務ノ伸張ヲ期シ得ナイト云フ場合ニハ、其ノ合併ハ認ムベキデハナカラウ、其ノヤウナ心構ヘデ居ルノデゴザイマス

○男爵明石元長君 尙モウ一ツ伺ヒタイノデアリマスガ、此ノ法案ノ出來マシタ結果、信託會社同士ガ合併シテ行クト云フヤウナ氣運ガ出テ來ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、政府ハ之ヲ御獎メニナルト言ヒマスカ、御獎メニナルヤウナ意思ガ御アリニナルノデアリマセウカ、私ハ寧ろ兼業ヲ認メルヨリモ人員、資材ヲ節約スル意味ニ於テハ此ノ合併ノ方向ニ進ミマシテ、サウシテ信託業ナラ信託業ト云フモノノ歴史ガ持ツ力、何ト申シマスカ、長年ノ經驗ニ依ッテ得タ信用ヲ基礎トシテ、其ノ職域ニ進ンデ行クト云フ方が、實質的ニ賢明ナノデハナイカト考ヘルノデアリスガ、其ノ點ハ如何デアリマセウカ

○政府委員(山際正道君) 其ノ問題モ矢張り一般ニ合併ノ場合ト同ジヤウニ、其ノ結果信託ノ機能ガ全體トシテ昂揚サレル場合ハ、勿論信託會社同士ノ合併モ認ムベキデアラウト考ヘテ居リマス、唯實情カラ申シマスルト段々申上ゲマサルヤウニ、今日ノ信託會社ハ大抵ハ親銀行ヲ持チ、其ノ資本系統其ノ役員ノ系統ヲ引イテ居リマスノデ、親銀行ノ合併デモゴザイマセヌ限リハ、實際問題トシテハナカ／＼信託會社同士ノ合併ト云フモノモシ得ナイト思ヒマスルシ、又親ノ方ヲ其ノ儘ニシテ置イテ、左様ナ信託會社ノ合併ガ果シテ能ク機能ノ調整ヲ行ヒ得ルカドウカト云フ點モ、多少懸念ガアルト思フノデアリマスガ、併シ要スルニソレニ依ッテ、其ノ業務ノ機能ガ益々伸張スルノデ

アリマスナラバ、勿論ソレハ認ムベキモノ
デアルト考ヘマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 他ニ御質問ハ
ゴザイマセスカ

○河田烈君 チョット私方面が違フノデア
リマスガ、是ハ私記憶が古クナッテ間違ッテ
居ルカ知レマセヌガ、貯蓄銀行ノ役員ハ特
別ノ責任ガアルと思フノデアリマスガ、普通
銀行ガ特殊銀行ヲ兼營スル場合ノ役員ノ責
任、人的擔保ノ責任ハドウナルノデセウカ

○政府委員(山際正道君) 御話ノ如ク現在
ノ貯蓄銀行法ニ於キマシテハ、役員ハ其ノ
預ッテ居リマスル貯金ニ對シマシテ無限責
任ヲ持ッテ居リマス、其ノ故ニ現在ノ貯蓄
銀行ハ非常ナ僅カナ資本ヲ以チマシテ、非
常ニ莫大ナ貯金ヲ集メテ參ッテ居ルノデ
アリマス、中ニハ資本金ノ五百數十倍ノ貯
金ヲ集メテ居ル貯蓄銀行モアルノデゴザイ
マス、デ今回此ノ兼營ノ法律ヲ立案スルニ
當リマシテ、其ノ責任ヲ同時ニ兼營ノ場合
ニモ適用スベキカ否カト云フ點ヲ一應慎重
考慮致シテ見タノデアリマス、其ノ結果ハ、
結果カラ申シマスルト、兼營ノ場合ニハ
其ノ規定ハ適用シナイト云フ結論ニ達シタ
次第デアリマス、其ノ理由ハ貯蓄銀行ニ於
キマシテハ只今申上ゲマシタ通りニ、無限
責任ト云フ制度デ、設立ノ當初ニ於キマシ
テハ相當ノ信用ヲ繋イデ今日ノ發達ヲ致シ
タルデアリマスルケレドモ、今日ノ實情
カラ見マスルト、僅カ數十萬圓ノ資本デ數億
ノ貯金ヲ預ッテ居ルヤウナモノニ對シマシ
テ、萬一事が起リマシタ場合ハ、實ハ役員
ノ無限責任デモ到底其ノ債務ヲ履行スルト
云フ働キハナイノデアリマス、今日ノ銀行業
ノ實際カラ申上ゲマスルト、貯蓄銀行ニ於

キマシテモ、亦普通銀行ニ於キマシテモ、
最早今日デハ其ノ無限責任ノ有無ニ依ッテ、
信用ノ強弱ガ相當影響ヲ受ケルトカ、或ハ
ソレニ依ッテ債務ノ履行ガ確保サレルトカ
云フ事態ハ、實ハ段々去ッテ居ルノデハナイ
カと思フノデアリマシテ、寧ロ今後ノ貯蓄銀行
ニ付キマシテモ、モウ現在ノ段階カラ申シマ
スルト、無限責任ヲ撤廢スル方が事態ニ合フノ
デハナイカトサヘ考ヘテ居ルノデゴザイマス、
唯現狀ガ無限責任ト云フモノヲ基礎ニ、兎
ニ角巨額ノ金ヲ集メテ居ル實情デアリマス
ルカラ、其ノ資本金ノ補強等ヲ致サナイ中
ニ、唯無限責任ダケヲ貯蓄銀行ニ於キマシ
テ撤廢スルノモ如何カと思ヒマスルノデ、
此ノ方ハ其ノ儘ニ致シテ居リマスルガ、之
ヲ移シテ普通銀行兼營ノ場合ニ持ッテ來ル
コトハ、今日ノ實情カラ申上ゲマシテ其ノ
必要ガナカラウト云フ結論ニ達シマシタ次
第デゴザイマス、普通銀行ニ於キマシテハ、
集メマシタ貯蓄ノ額ト資本ノ鈞合カラ申シ
マシテモ、貯蓄銀行程ノ狀態デモゴザイマ
セヌノデ、又一面ニ於テ先般來申上ゲテ居
リマスル通り、其ノ内容カラ申上ゲマシテ
モ、無限責任ヲ強ヒテ必要トシナイ事態デ
モアラウト考ヘマスノデ、其ノ條文ヲ此ノ
法案ニ引用致シマスコトハ取止メマシタヤ
ウナ次第デゴザイマス

○委員長(伯爵橋本實斐君) 他ニ御質問ハ
ゴザイマセヌカハデハ今日ハ此ノ程度デ終
リマス、明日ハ午後一時半ニ開會致シマス
午後三時三十七分散會
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵橋本 實斐君
副委員長 男爵明石 元長君

委員

公爵一條 實孝君
侯爵淺野 長武君
子爵綾小路 護君
子爵上原七之助君
三井清一郎君
男爵小畑大太郎君
下村 宏君
河田 烈君
富田 健治君
澁澤 金藏君
野村 德七君
米原 章三君

政府委員

大藏次官 谷口 恒二君
大藏省主稅局長 松隈 秀雄君
大藏省國民貯蓄局長 氏家 武君
大藏省資金局長 松田 令輔君
大藏省理財局長 田中 豐君
大藏省銀行局長 山際 正道君
專賣局長官 木内 四郎君
大藏書記官子爵 戶田 忠肅君